道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道２号西広島バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：広島県広島市中区平野町 至：広島県廿日市市地御前			延長	１９．４km

事業概要

一般国道２号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の主要都市を経由し北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。

西広島バイパスは、広島西部方面から広島市中心部へ流入する交通を円滑に分散・導入させ、慢性的な交通渋滞の緩和を図り、広島市の都市機能を強化するとともに広域的な地域連携強化による周辺都市との一体的な発展に資することを目的として計画された延長19.4kmのバイパスである。

Ｓ４０年度事業化	Ｓ４６年度都市計画決定（Ｈ６・９年度変更）	Ｓ４２年度用地着手	S42年度工事着手

全体事業費	約1,022億円	事業進捗率（H22年度末現在）	６７％	供用済延長	17.1km

計画交通量	17,300台／日～93,600 台／日

費用対効果分析結果	Ｂ／Ｃ（3便益）	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) 7.9 (残事業) 1.6	223 / 3,485億円 事業費 ：218/3,197億円 維持管理費：5.9/288億円	353/ 27,641億円 走行時間短縮便益： 201/23,161億円 走行費用減少便益： 98/3,108億円 交通事故減少便益： 54/1,372億円	平成２３年

感度分析の結果　残事業について感度分析を実施

交通量変動　：B/C＝ 1.6 （交通量+10%）　B/C＝ 1.5 （交通量-10%）
事業費変動　：B/C＝ 1.4 （事業費+10%）　B/C＝ 1.8 （事業費-10%）
事業期間変動：B/C＝ 1.4 （事業期間+20%）　B/C＝ 1.8 （事業期間-20%）

事業の効果等

①円滑なモビリティの確保
・損失時間の削減が見込まれる【12,011千人・時間/年⇒10,323千人・時間/年（14.1%削減）】
・混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される
【広島市中区国泰寺町：15.2km/h→29.5km/h】
【広島市中区舟入本町：15.4km/h→28.2km/h】
・利便性の向上が期待できるバス路線が存在する
【広島バスセンター～四季が丘団地（12往復/日）ほか17路線】
・廿日市市から広島駅（新幹線駅）へのアクセスが向上【廿日市市役所～広島駅：37分⇒30分】
・廿日市市から広島港（特定重要港湾）へのアクセスが向上【廿日市IC～広島港：41分⇒35分】
②国土・地域ネットワークの構築
・日常活動圏の中心都市へのアクセスが向上【廿日市市～広島市：28分⇒24分】
③個性ある地域の形成
・宮島（H22年間観光入込客数344万人）、平和記念公園（同137万人　※平和記念資料館の来客者数）へのアクセスが向上
④安全で安心できる暮らしの確保
・三次医療施設へのアクセスが向上【広島市西区、佐伯区～広島市民病院、広島大学病院、広島県立病院】
・死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間において、安全性の向上が期待できる。
【広島市西区観音本町：755.9件/億台キロ等】
【廿日市市平良2丁目　：525.1件/億台キロ等】
⑤災害への備え
・広島県の第１次緊急輸送道路に指定（一般国道２号）
・緊急輸送道路である一般国道２号（宮島街道）が通行止めになった場合の代替路線を形成する。
⑥地球環境の保全
・CO2排出削減量が72.9千t/年削減【4,562千t/年→4,489千t/年】
⑦生活環境の改善・保全
・NOX排出量が約391.6t/年（約1.9%）削減【20,345t/年→19,954t/年】
・SPM排出量が約 33.1t/年（約1.9%）削減【 1,761t/年→ 1,728t/年】
・現道における騒音（広島市中区舟入本町　夜間71dB）の改善が見込まれる

⑩環境への影響を考慮した効果
・72.9千t/年のCO2削減量の貨幣換算値【122億円※】
⑪交通事故件数の削減
・交通事故件数が約4.6%削減【11,264件/年→10,741件/年】
※ 供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

関係する地方公共団体等の意見

西広島バイパスは、広島都市圏の中心部分に集中する交通を円滑に処理することが期待されており、広島市をはじめとする関係3市及び2商工会議所で構成される国道2号西広島バイパス高架建設促進期成同盟会より早期完成の要望を受けている。

広島県知事の意見：
継続とする対応方針については妥当である。
西広島バイパスについては、広島市中心部の交通渋滞を緩和し、広島都市圏の連携強化を図るための重要な事業と考えます。
広島県といたしましては、計画的に整備を進めていただきたいと考えます。

広島市長の意見：
一般国道２号西広島バイパスの事業再評価に係る対応方針（原案）については異存ありません。
一般国道２号西広島バイパスについて、本市と協議・調整の上、着実な事業展開を図られるようお願いします。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
・西広島バイパス沿線地域である広島市西区、佐伯区、廿日市市では、西広島バイパスや山陽自動車道の供用、多数の住宅団地整備などにより急速な発展をとげており、これに伴う自動車交通の増加が、広島市都心流入部における西広島バイパスを中心に慢性的な交通混雑を引き起こしている。

事業の進捗状況、残事業の内容等
・平成22年度末で、用地買収は概成しており、現在までに17．1kmを供用している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
・投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、平成23年度に廿日市高架橋部L=2.2kmの完成4車線供用を予定している。

施設の構造や工法の変更等
・機能分散型支承の採用や、少数主桁の採用によりによりコスト縮減を図っている

対応方針（原案）　事業継続

対応方針決定の理由
以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

一般国道2号　西広島（にしひろしま）バイパス

事業再評価

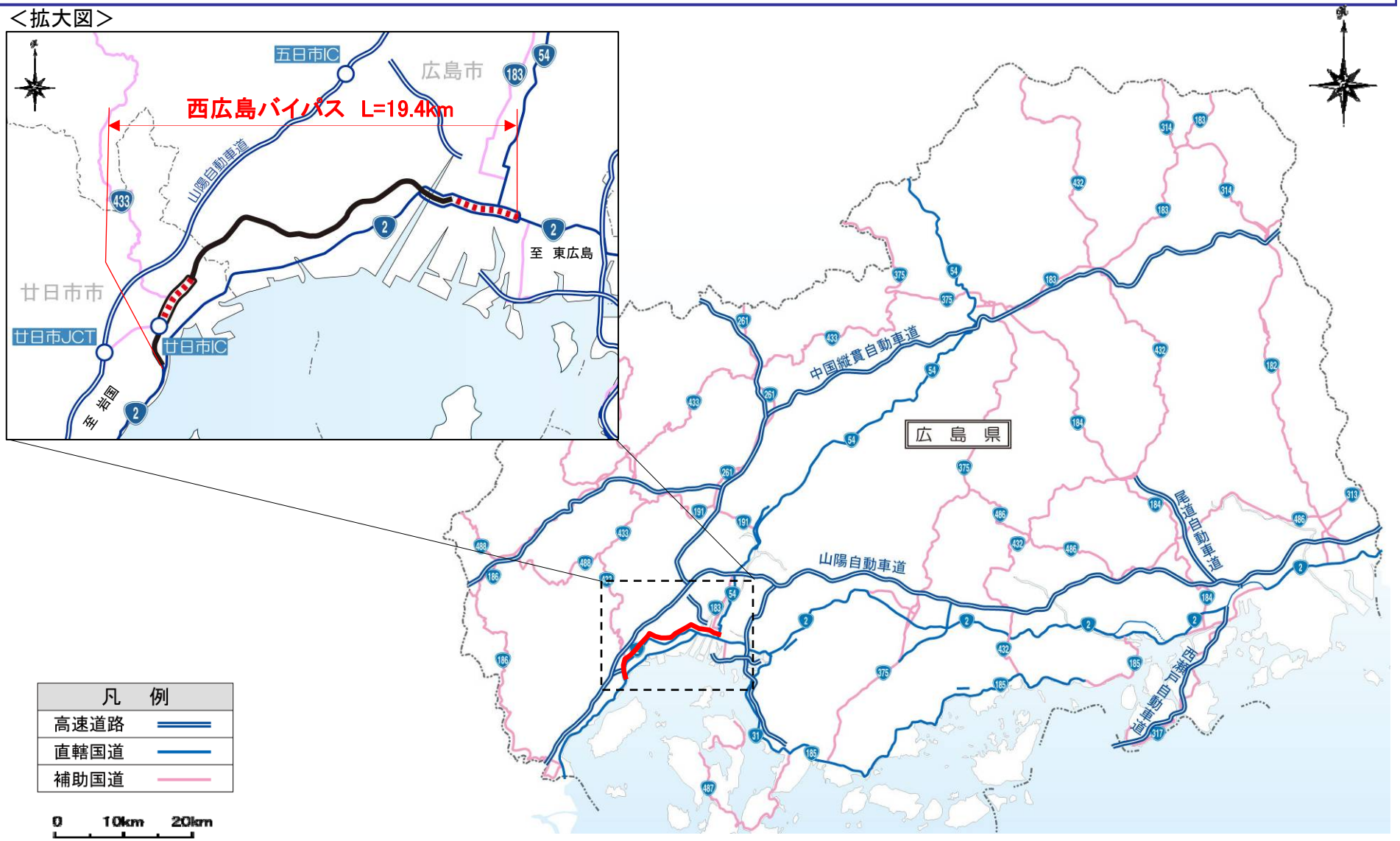
平成23年12月

国土交通省　中国地方整備局

1．位置図

・一般国道2号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海の諸都市を連絡し、北九州市に至る延長670kmの主要幹線道路である。
・このうち、西広島バイパスは、広島市中区平野町～廿日市市地御前までを結ぶ19.4kmの道路である。

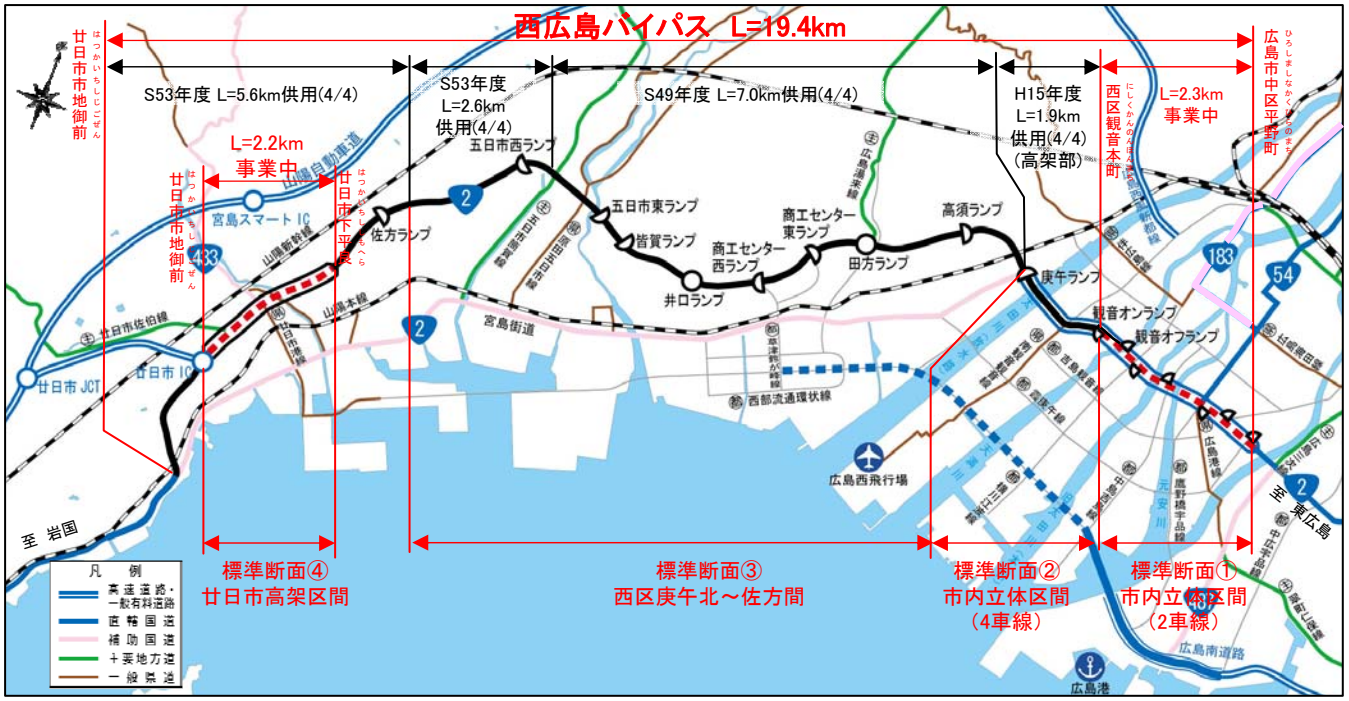
＜拡大図＞



２．西広島バイパスの概要及び経緯

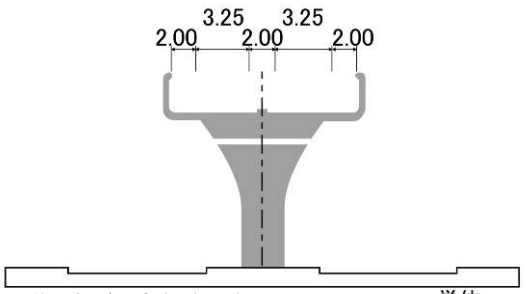
（１）事業概要

・西広島バイパスは、一般国道2号の慢性的な交通渋滞の緩和を図り、広島市の都市機能を強化するとともに地域連携強化による周辺都市との一体的な発展に資する道路である。



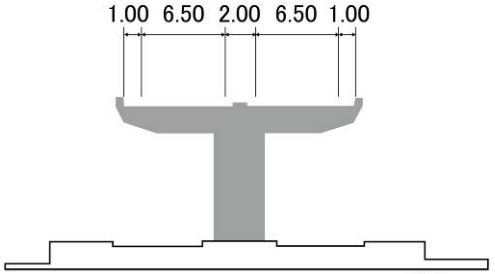
標準断面図

標準断面①【市内立体区間(２車線)】



※着色部が西広島バイパス　単位：m

標準断面②【市内立体区間(４車線)】

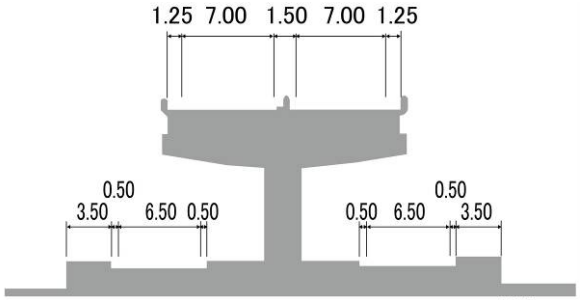


※着色部が西広島バイパス　単位：m

事業区間の概要

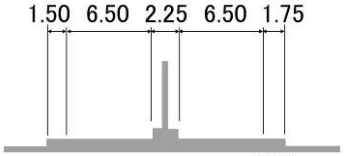
起終点	起点：広島県広島市中区平野町（ひろしまけんひろしましなかくひらのまち） 終点：広島県廿日市市市地御前（ひろしまけんはつかいちしじごぜん）
計画延長	19.4km
道路規格	第２種第２級(設計速度60km/h) 第１種第３級(設計速度80km/h) 第４種第１級(設計速度60km/h) 第３種第２級(設計速度60km/h)
車線数	2車線/中区平野町～西区観音本町 4車線/西区観音本町～廿日市市地御前 4車線/廿日市市下平良～廿日市市地御前

標準断面④【廿日市高架区間】



単位：m

標準断面③【供用済み区間】



単位：m

２．西広島バイパスの概要及び経緯

（２）事業の経緯

・昭和40年度に事業着手し、平成15年度までに観音本町～地御前の延長17.1kmを4車線で供用している。

事業経緯	区間 / 年度	地御前～佐方	佐方～五日市中央	五日市中央～庚午北	庚午北～観音本町	観音本町～平野町
	昭和40年度	事業着手				
	昭和42年度	用地着手・工事着手				
	昭和46年度	都市計画決定				
				2/4供用		
	昭和49年度	2/4供用		4/4供用	高架部2/4供用	
	昭和53年度	平面部（4/4供用）	4/4供用			
	平成6年度				都市計画変更	都市計画決定
	平成9年度	都市計画変更				
	平成14年度	廿日市高架橋工事着手				H14.8.13（被告：国・市） 公害差止・損害賠償請求訴訟
	平成15年度				4/4供用	
		中国地方整備局事業評価監視委員会で再評価を実施				
	平成20年度	中国地方整備局事業評価監視委員会で再評価を実施				
	平成22年度					H22.5.20 地裁判決 差止請求：棄却　損害賠償請求：一部容認 被告・原告双方控訴

２．西広島バイパスの概要及び経緯

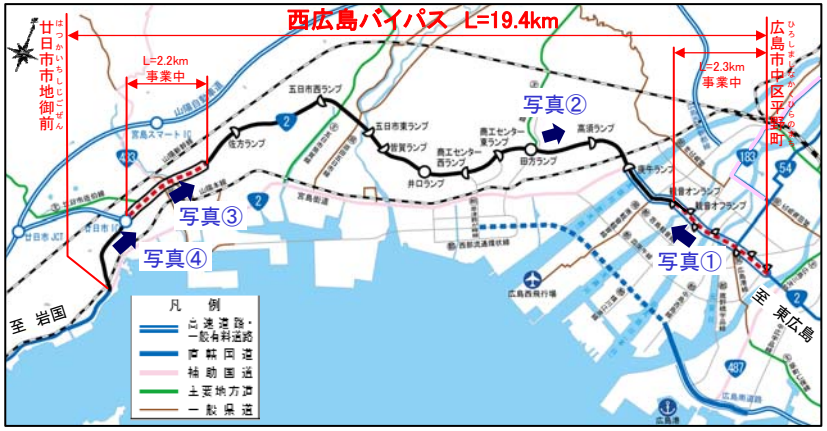
（３）事業進捗状況

・ 平成14年度から廿日市高架橋の工事に着手しており、平成23年度の供用を予定している。

○事業全体の工事進捗率
（平成22年度末現在）

用地	99%
工事	62%
全体	67%

※事業費に対する割合



【写真①】市内立体区間（観音オフランプ）の様子

【写真④】廿日市高架橋（終点）の様子

【写真③】廿日市高架橋（起点）の様子

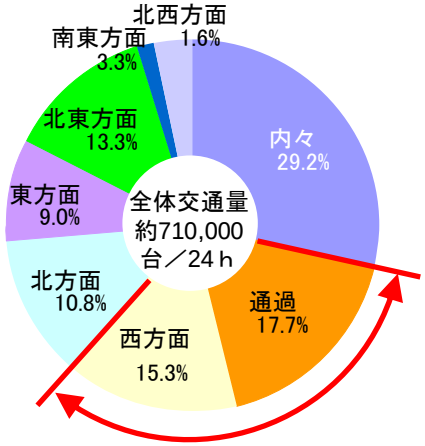
【写真②】供用済み区間（高須付近）の様子

２．西広島バイパスの概要及び経緯

（４）交通状況

- 広島デルタ内の交通の約15%が西方面との行き来、約18%がデルタ内を通過する交通である。
- 広島デルタの西断面の交通量の約5割を西広島バイパスが担っており、交通量は年々増加している。

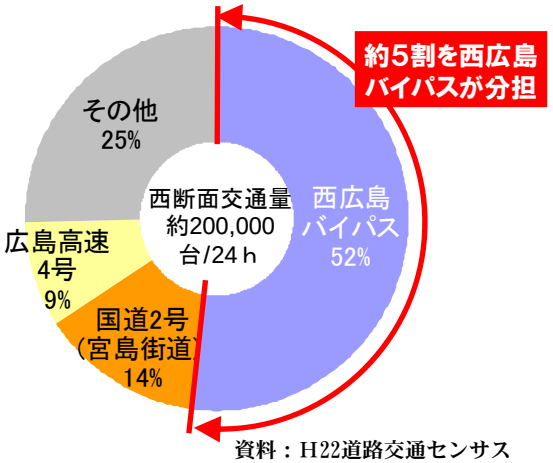
広島デルタ内の交通分担



資料：H17道路交通センサスODデータ

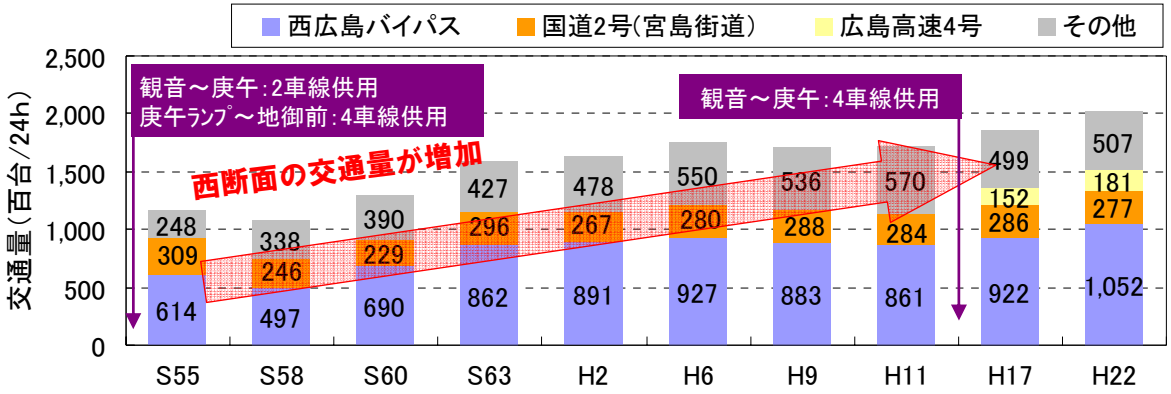
広島デルタ西断面

広島デルタ西断面の交通分担



資料：H22道路交通センサス

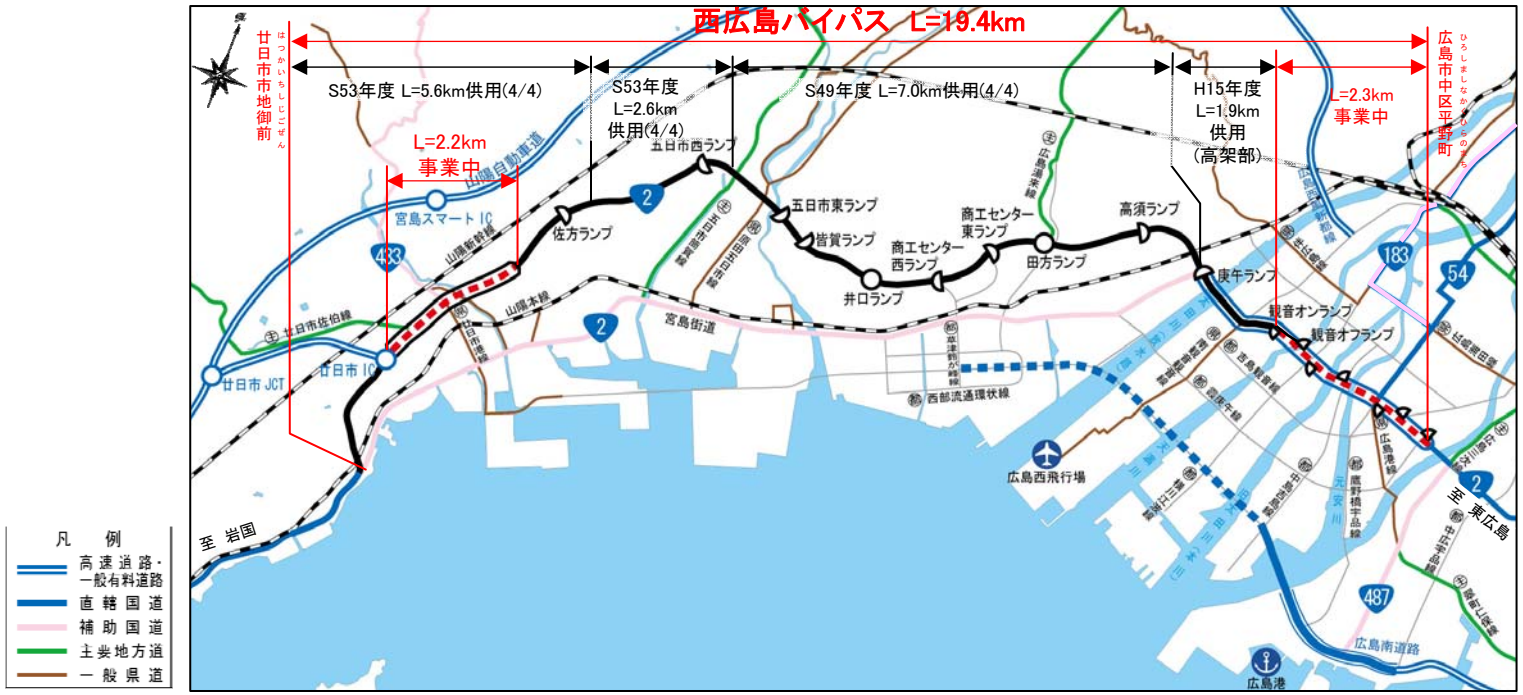
広島デルタ西断面の交通量の推移



資料：S55～H22道路交通センサス

３．地域から期待される道路の役割（効果）

一般国道２号 西広島バイパス



課題①：国道2号で発生する渋滞

＜期待される道路の役割（効果）＞
⇒損失時間の削減

課題②：国道2号の交通事故

＜期待される道路の役割（効果）＞
⇒交通事故の削減

課題③：沿道環境の改善

＜期待される道路の役割（効果）＞
⇒沿道騒音の改善

課題④：観光振興

＜期待される道路の役割（効果）＞
⇒主要観光地間の周遊性向上

課題⑤：物流の支援

＜期待される道路の役割（効果）＞
⇒物流の円滑化、沿道環境の改善

課題⑥：重症患者の救急搬送

＜期待される道路の役割（効果）＞
⇒救急救命に寄与

課題⑦：地域間ネットワークの構築

＜期待される道路の役割（効果）＞
⇒円滑な通勤・通学の支援

３．地域から期待される道路の役割（効果）

一般国道２号 西広島バイパス

課題①　国道２号で発生する渋滞

・広島市中心部で速度低下が大きく、1kmを超える渋滞が発生しており、特に朝ピーク時には西広島BP入り口交差点で5kmを超える渋滞が発生。
・廿日市高架区間で速度低下による、1kmを超える渋滞が発生。

広島西バイパスの渋滞発生状況

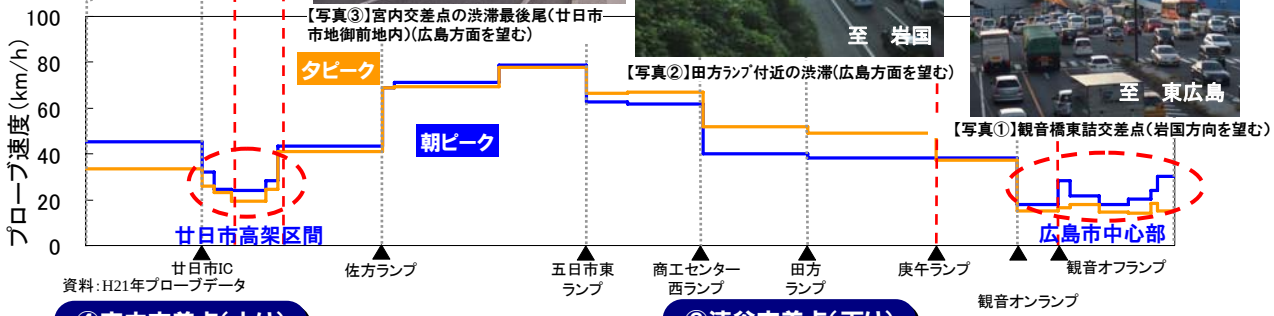
【凡例】● 主要渋滞ポイント ←：朝ピークの渋滞長 ←：夕ピークの渋滞長

●渋滞長 H22.11.16（火）調査

【写真③】宮内交差点の渋滞最後尾（廿日市市地御前地内）（広島方面を望む）

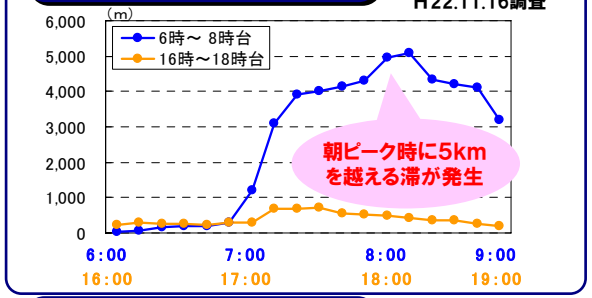
【写真②】田方ﾗﾝﾌﾟ付近の渋滞（広島方面を望む）

【写真①】観音橋東詰交差点（岩国方向を望む）

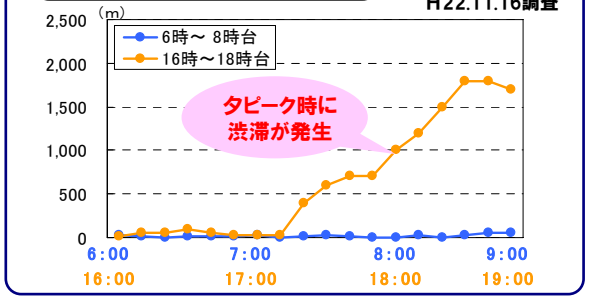


資料：H21年プローブデータ

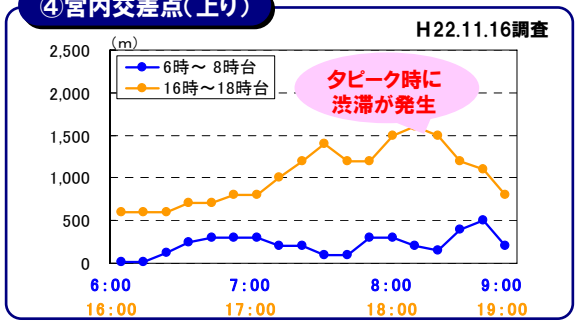
①西広島BP入口交差点（上り）



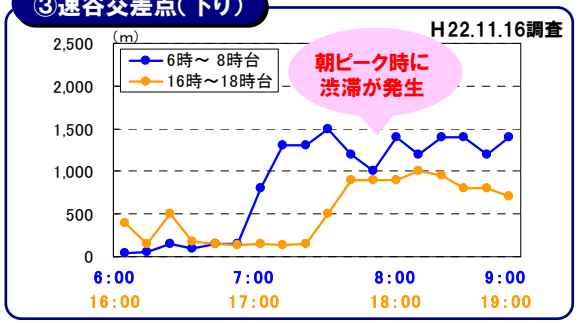
②新観音橋東詰交差点（下り）



④宮内交差点（上り）

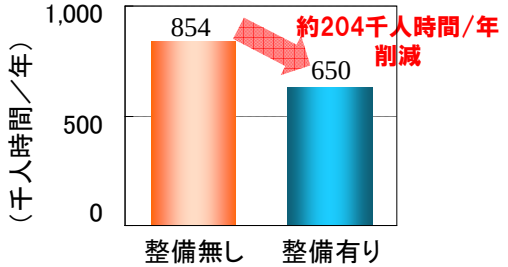


③速谷交差点（下り）



期待される効果

損失時間の削減



※各時点の交通量配分結果をもとに、交通量、旅行速度を用いて算出
※損失時間量算出式
　客観的評価指標の定量的評価指標の算出方法（案）
※算出対象範囲は当該道路及び並行現道

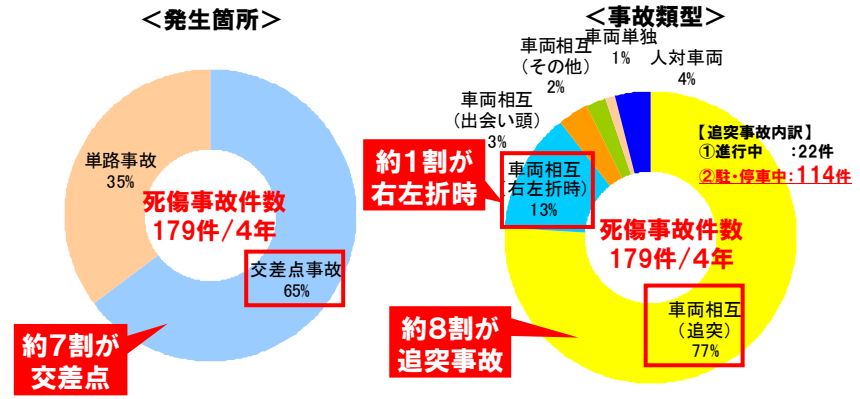
３．地域から期待される道路の役割（効果）

一般国道２号 西広島バイパス

課題②　国道２号の交通事故

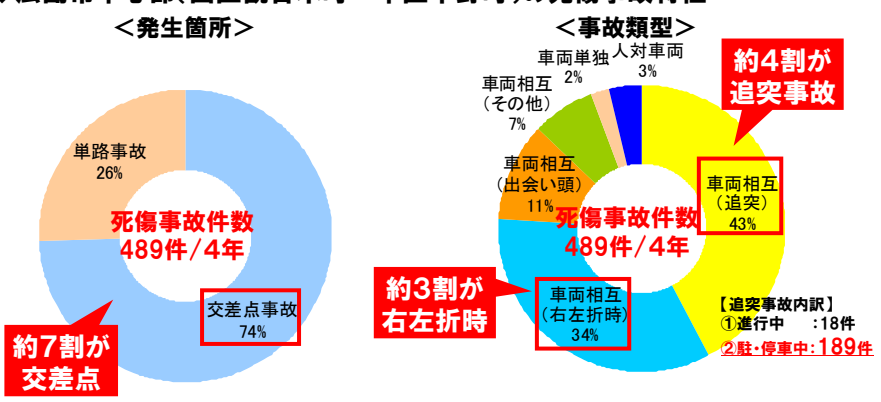
・廿日市高架区間及び広島市中心部の交差点部で事故が多く発生している。
・西広島バイパスの整備により、通過交通の交差点回避が可能となり、交通事故件数の削減が期待される。

◆宮内・速谷交差点付近の死傷事故特性

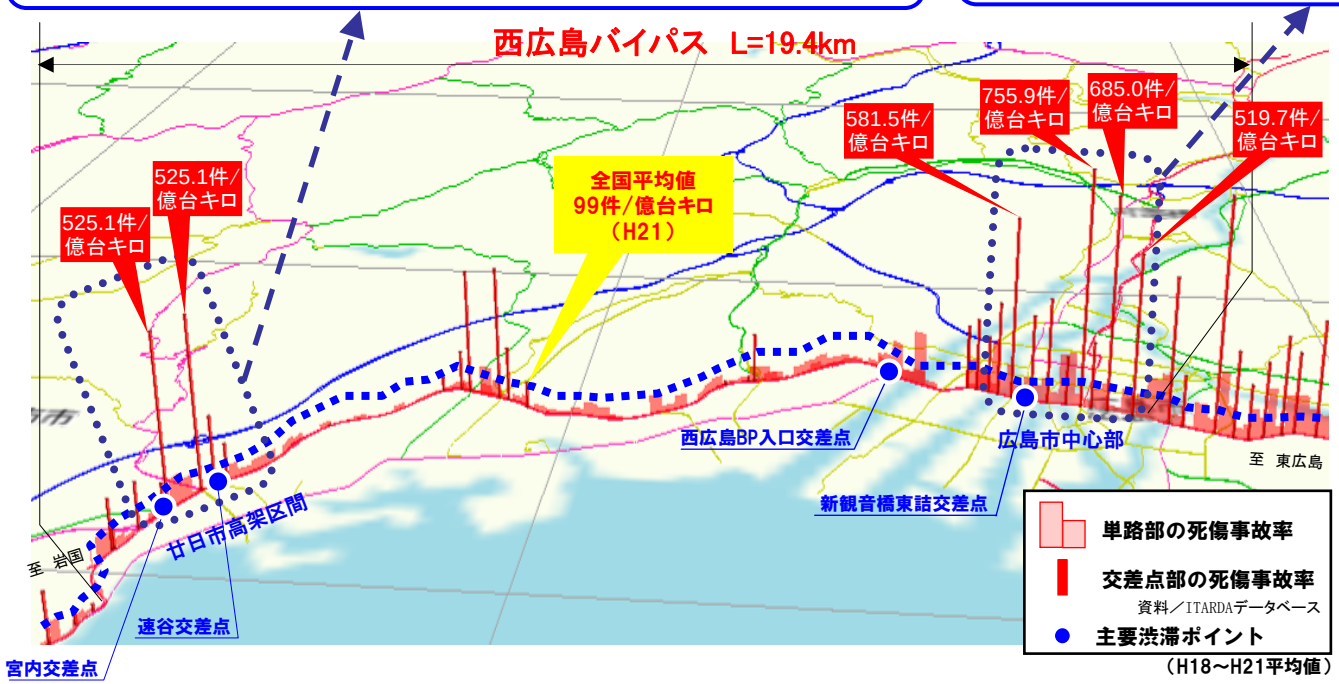


資料：H18～H21事故統合データベース（集計範囲：廿日市市下平良～廿日市市地御前２丁目）

◆広島市中心部（西区観音本町～中区平野町）の死傷事故特性

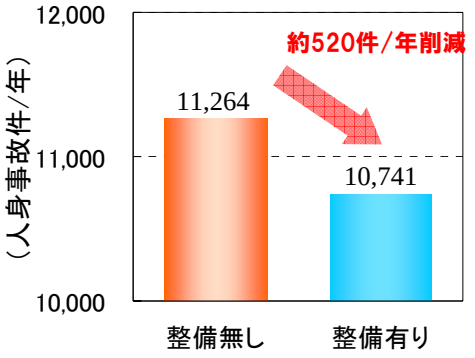


資料：H18～H21事故統合データベース（集計範囲：西区観音本町～中区平野町）



期待される効果（道路の役割）

死傷事故件数の削減効果



※H42交通量配分結果をもとに、西広島バイパスの整備有無のケースの交通量を用いて算出
※人身事故件数算定式：
交通事故減少便益の原単位の算出方法
（H20年11月 国土交通省）
※死傷事故件数算出対象範囲は、当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出

３．地域から期待される道路の役割（効果）

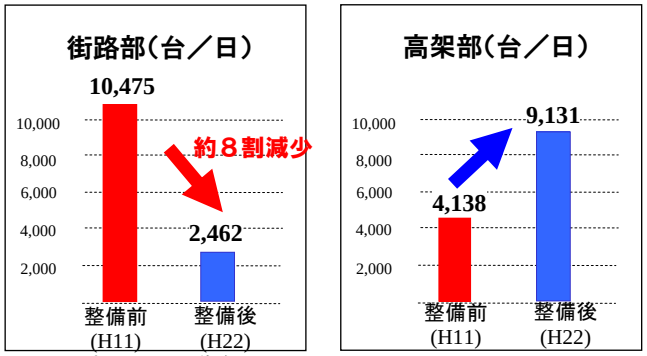
一般国道２号 西広島バイパス

課題③　沿道環境の改善

・ 広島市中心部では、夜間騒音レベルが要請限度を上回っており、立体化等による沿道環境の改善が期待される。

庚午ランプ～観音ランプ4車線化による効果

大型車交通量の変化（A－A断面）



※大型車交通量は道路交通センサスより

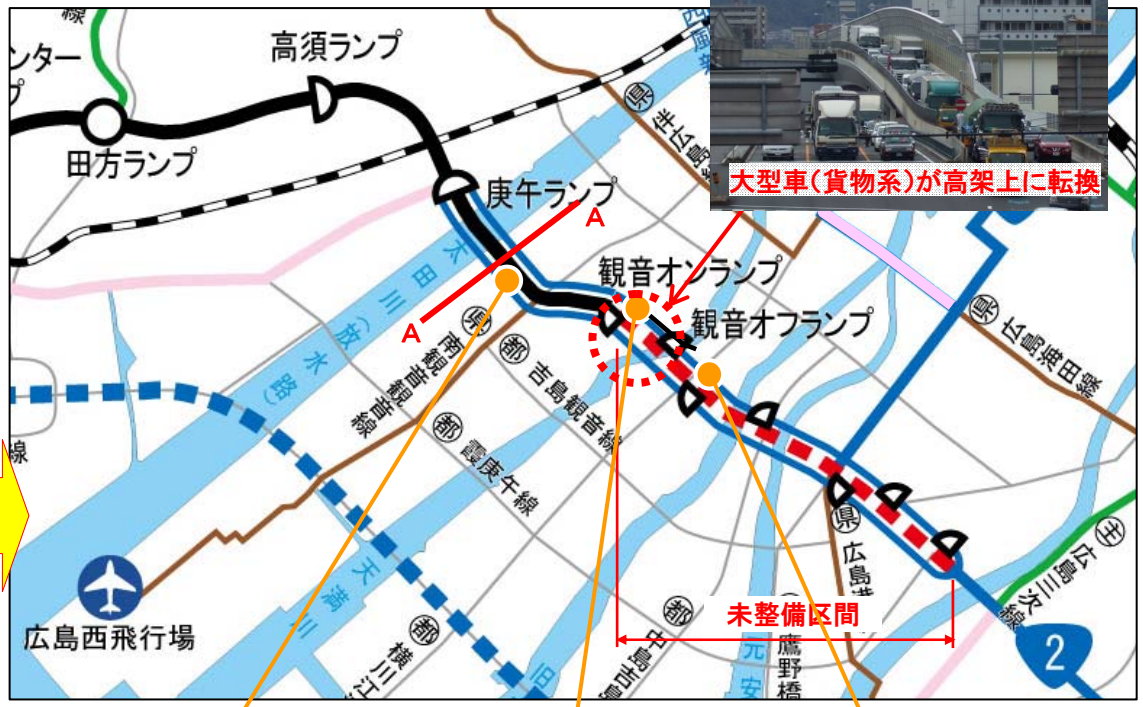
街路部の大型車が高架上に転換

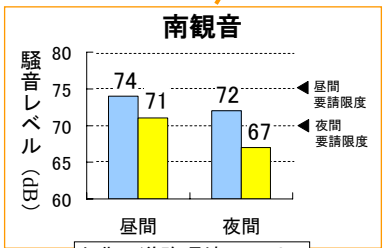
環境対策

遮音壁、高架裏面吸音板、低騒音舗装、低層遮音壁などの環境対策の実施

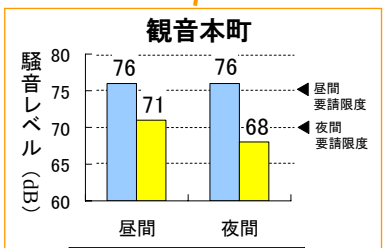
環境対策（南観音地区）

国道2号の騒音状況

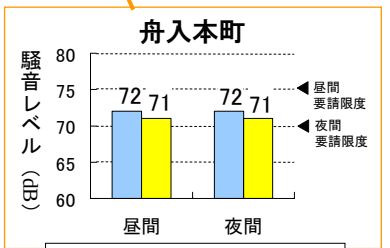




出典：道路環境センサス



出典：道路環境センサス



出典：騒音・振動関係データ集（広島市環境局）

平成12年（庚午ランプ～観音ランプ4車線化前）

平成18年（庚午ランプ～観音ランプ4車線化後）

３．地域から期待される道路の役割（効果）

一般国道２号 西広島バイパス

課題④　主要観光地間の周遊性向上

・西広島バイパスは、原爆ドーム（広島市）や宮島（廿日市市）などの主要観光施設を結ぶルートである。
・西広島バイパスの整備により、移動時間が短縮し、広島、宮島、岩国などの周遊観光の支援が期待される。

周辺の主要観光施設

厳島神社

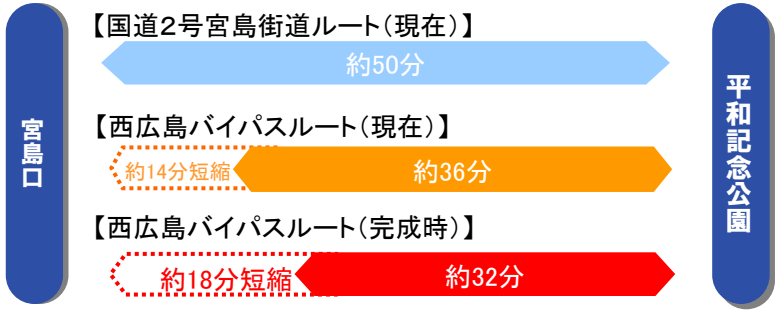
出典：廿日市市 環境産業部 観光課HP

平和記念資料館

出典：広島平和記念資料館ＨＰ

出典：広島県　観光客数の動向
山口県　観光客動態調査結果

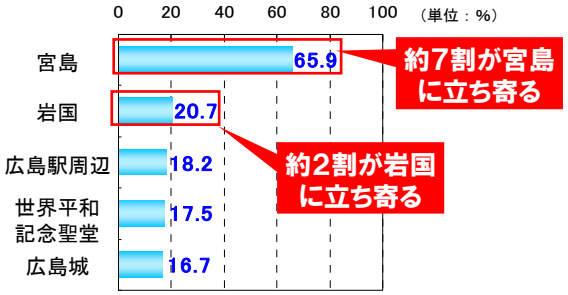
所要時間の短縮



※1　現在：H22センサス混雑時旅行速度を用いて算出
※2　完成時：現在事業中区間は規制速度（V=60km/h）、その他はH22センサス混雑時旅行速度を用いて算出

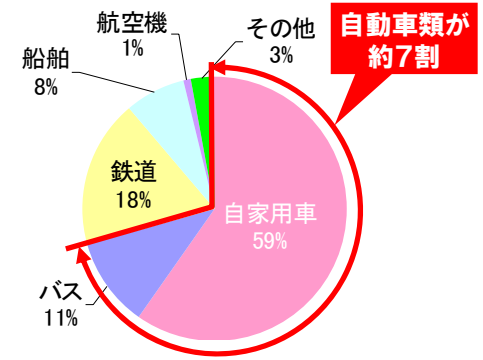
立ち寄り観光

●平和記念資料館を訪れた人のその他の立ち寄り場所



※上位5位までを示す。ただし、原爆ドームは除く。
出典：平成21年広島市来訪観光客アンケート調査結果

広島観光における交通機関割合



出典：平成22年広島県観光客数の動向

広島・宮島・岩国地域観光圏整備計画

【目的】
広島・宮島・岩国地域において、滞在型の国際協力のある観光地を目指すことを目的としている。

【観光県整備事業】
◆宿泊の魅力の向上に関する事業
◆観光コンテンツの充実に関する事業
◆交通・移動の利便性向上に関する事業
◆観光案内・観光情報の提供
◆その他

３．地域から期待される道路の役割（効果）

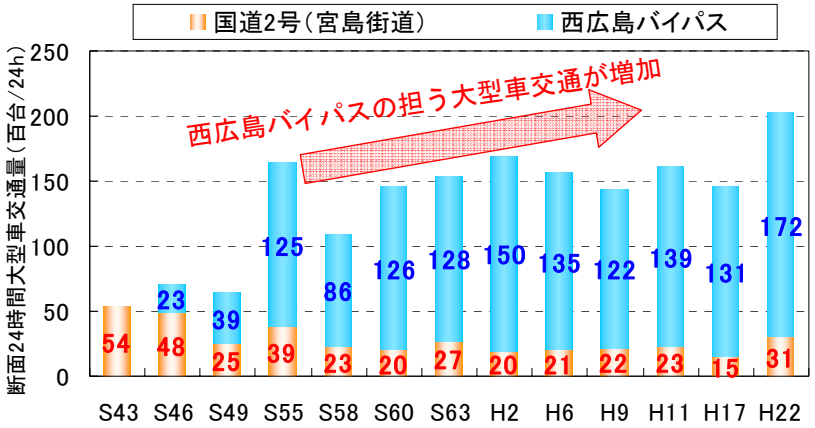
一般国道２号 西広島バイパス

課題⑤　物流の支援

- 大型車交通量は増加傾向にあり、西広島バイパスの整備による物流効率化が期待される。

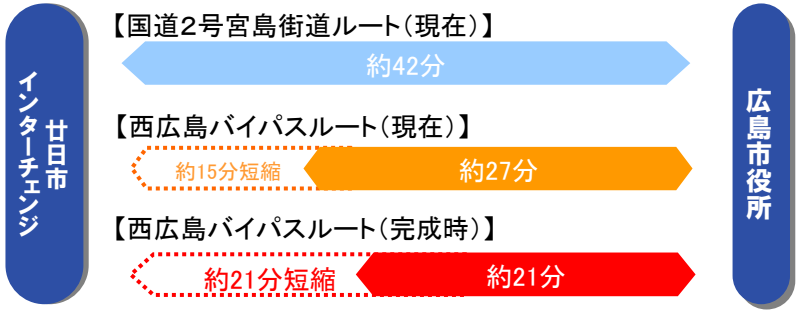
西広島バイパスの役割（物流交通）

大型車交通量の推移



資料：S43～H22年道路交通センサス

所要時間の短縮



※1　現在：H22センサス混雑時旅行速度を用いて算出
※2　完成時：現在事業中区間は規制速度（V=60km/h）、その他はH22センサス混雑時旅行速度を用いて算出

３．地域から期待される道路の役割（効果）

一般国道２号 西広島バイパス

課題⑥　重症患者の救急搬送

・観音ランプや廿日市高架区間では、渋滞により救急搬送に影響を与えている。
・西広島バイパスの整備による円滑な救急搬送が期待される。

廿日市高架区間

国道2号交差点の混雑が救急搬送の障害！！

国道2号（上平良交差点）を横断する救急車両

消防署の声

○西広島バイパスの交差点が渋滞しているため、救急車両が横断するのに時間がかかり、搬送時間が長くなっている。
○宮内交差点の渋滞が激しいため、迂回している。

廿日市市消防本部

広島市内立体区間

観音ランプの滞留車両がスムーズな救急搬送を阻害！！

観音オフランプでの渋滞状況

消防署の声

○観音ランプは滞留車両のため救急車がスムーズに通過できないことがある。
○このため、時間帯や交通量によっては、一つ手前の庚午ランプで降りるようにしている。

広島市消防局

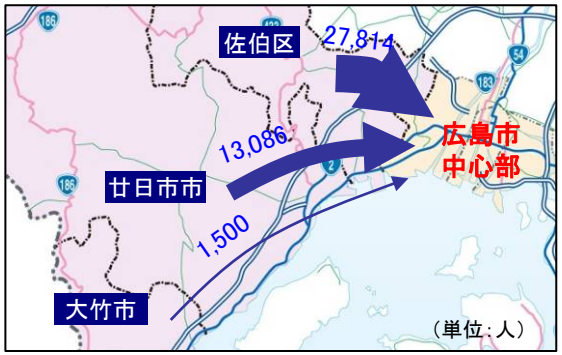
３．地域から期待される道路の役割（効果）

一般国道２号 西広島バイパス

課題⑦　地域間ネットワークの構築

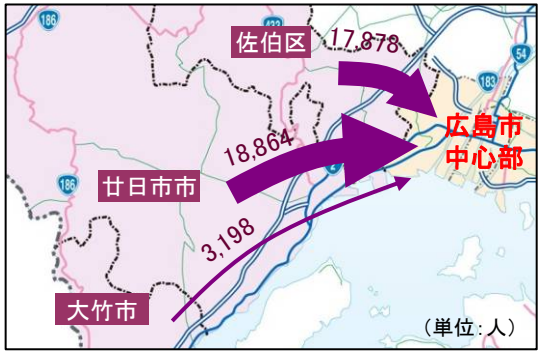
・西広島バイパス沿線は宅地化が進み、広島市中心部への通勤・通学や買い物流動が多い。
・西広島バイパスの整備により、所要時間の短縮やバスの定時性向上等が期待される。

通勤通学流動



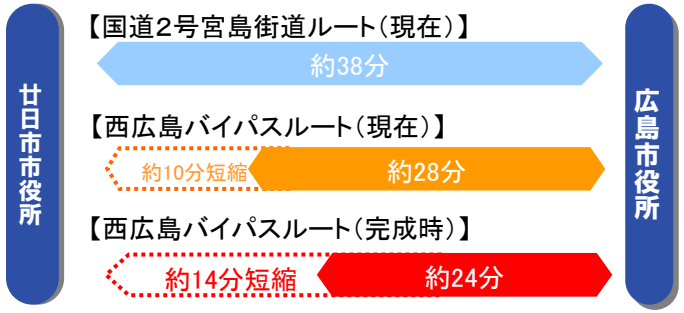
資料：平成17年国勢調査

買い物流動



資料：平成15年広島県商圏調査結果報告書（広島県）

所要時間の短縮



※1　現在：H22センサス混雑時旅行速度を用いて算出
※2　完成時：現在事業中区間は規制速度（V=60km/h）、その他はH22センサス混雑時旅行速度を用いて算出

４．コスト縮減に対する取り組み

・機能分散型支承の採用や、少数主桁の採用により、コスト縮減を図っている。

機能分離型支承の採用

・ 新技術の採用（機能分離型支承）により、建設コストを縮減

コスト縮減額　：約0.1億円

少数主桁の採用

・ 少数主桁構造の採用により、使用鋼材を軽減し、建設コストを縮減

コスト縮減額　：約0.6億円

５．事業の効果

一般国道２号 西広島バイパス

・地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理

◆3便益による費用便益比

（億円）

項　目		全体事業	残事業
費用（C）		3,485	223
	事業費	3,197	218
	維持管理費	288	5.9
便益額（B）		27,641	353
	走行時間短縮便益	23,161	201
	走行経費減少便益	3,108	98
	交通事故減少便益	1,372	54
費用便益比		7.9	1.6

便益計測対象項目	内　容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる走行に必要な経費（燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費）の減少効果を対象として算出したもの。 なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失（運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構築物に関する物的損害額等）が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

◆道路の役割

■道路の役割（＋α）
①環境への影響を配慮した効果 ［例）72.9千t/年のCO2削除］【+122億円】 ※1※2
②物流効率化の支援 ［例）廿日市IC～広島港の所要時間の短縮（41分【現況】⇒35分）］
③地域ネットワークの構築 ［例）廿日市市役所～広島市役所の所要時間短縮（28分【現況】⇒24分）］
④観光振興の支援 ［例）平和記念公園～宮島の所要時間短縮（36分【現況】⇒32分）］
⑤沿道環境の改善 ［例）NOX排出量約391.6t/年（約1.9%削減）、SPM排出量約33.1t/年（約1.9%削減）］ ※2

※1 【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）
※2 西広島バイパスの影響を受けるエリアを対象に算定

	計画交通量	総事業費	総費用（C）	3便益（B）	費用対効果（B/C） （ ）内は残事業B/C
参考①	17,300台／日 ～ 93,600台／日	約1,022億円	3,485億円	27,658億円	7.9（1.6）
参考②（その他の道路の役割を考慮）	17,300台／日 ～ 93,600台／日	約1,022億円	3,485億円	27,658億円＋α	－

６．今後の対応方針

１．再評価の視点

①事業の必要性の視点

1）事業を巡る社会情勢等の変化

◇西広島バイパス沿線地域である広島市西区、佐伯区、廿日市市では、西広島バイパスや山陽自動車道の供用、多数の住宅団地整備などにより急速な発展をとげており、これに伴う自動車交通の増加が、広島市都心流入部における西広島バイパスを中心に慢性的な交通混雑を引き起こしている。

2）事業の投資効果

◇費用便益比（B/C）= ７．９（事業全体）　１．６（残事業）
◇道路の役割
①環境への影響を配慮した効果 ［例）72.9千t/年のCO2削除］【+122億円】 ※1※2
②物流効率化の支援 ［例）廿日市IC～広島港の所要時間の短縮（41分【現況】⇒35分）］
③地域ネットワークの構築 ［例）廿日市市役所～広島市役所の所要時間短縮（28分【現況】⇒24分）］
④観光振興の支援 ［例）平和記念公園～宮島の所要時間短縮（36分【現況】⇒32分）］
⑤沿道環境の改善 ［例）NOX排出量約391.6t/年（約1.9%削減）、SPM排出量約33.1t/年（約1.9%削減）］ ※2

※1 【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）
※2 西広島バイパスの影響を受けるエリアを対象に算定

3）事業の進捗状況

◇広島市観音本町～廿日市市地御前までの17.1kmを4車線で供用している。

②事業の進捗見込み

◇投資効果の早期発現を図るため、段階的に整備しており、平成23年度に廿日市高架部L=2.2kmの完成4車線供用を予定している。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

◇機能分散型支承の採用や、少数主桁の採用によりコストの縮減を図っている。

2．県、市への意見照会結果

◇広島県知事の意見：
継続とする対応方針については妥当である。
当事業は、広島市中心部の交通渋滞を緩和し、広島都市圏の連携強化を図るための重要な事業と考えます。
広島県といたしましては、計画的に整備を進めていただきたいと考えます。
◇広島市長の意見：
一般国道2号西広島バイパスの事業再評価に係る対応方針（原案）については、異存ありません。
一般国道2号西広島バイパスについて、本市と協議・調整の上、着実な事業展開を図られるようお願いします。

【今後の対応方針（原案）】

◇上記①、②の各視点により、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも事業継続が妥当。
◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、効率的な事業に努める。

＜参考資料＞

◆前回評価時との比較

	前回評価時 （平成20年度）	今回評価時 （平成23年度）	備　考 （前回評価時からの変更点）
事業諸元	L=19.4km	L= 19.4 km	―
計画交通量	13,300台／日 ～80,700台／日	17,300台／日 ～ 93,600台／日	・推計モデル及び将来フレームを統一（H22年度） ・ネットワーク設定の見直し （現況に加え、事業化済み箇所を考慮）
総事業費	約1,022億円	約1,022億円	―
総費用 （C）	3,276億円	3,485億円	・基準年の変更（H20基準からH23基準）
総便益 （B）	18,300億円	27,641億円	・推計モデル及び将来フレームを統一（H22年度） ・ネットワーク設定の見直し （現況に加え、事業化済み箇所を考慮） ・基準年の変更（H20基準からH23基準）
費用対効果 （B/C）	5.6	7.9	・総費用及び総便益を見直したため

※費用／便益は基準年における現在価値の値

一般国道２号　西広島バイパス

〔費用便益比（Ｂ／Ｃ）算定等資料〕

様式１　客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道2号　西広島バイパス
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指　標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	事業全体 費用便益比（Ｂ／Ｃ）＝7.9　（経済的純現在価値（Ｂ－Ｃ）＝24,155億円、経済的内部収益率（ＥＩＲＲ）＝17.5%） 残事業 費用便益比（Ｂ／Ｃ）＝1.6　（経済的純現在価値（Ｂ－Ｃ）＝130億円、経済的内部収益率（ＥＩＲＲ）＝6.7%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指　標　（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1．活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について： 渋滞損失削減時間：1,688.1千人・時間/年（12,011.1千人・時間/年⇒10,323.0千人・時間/年） 区間b（当該区間／並行区間）について：（該当区間名）一般国道2号現道部(宮島街道) 並行区間等（当該区間）の渋滞損失削減率：約23.9%（854.2千人・時間/年⇒650.4千人・時間/年）
		■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	対象区間（広島市中区国泰寺町）、改善見込み（旅行速度15.2km/h⇒29.5km/h） 対象区間（広島市中区舟入本町）、改善見込み（旅行速度15.4km/h⇒28.2km/h）
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	利便性向上が見込まれるバス路線：広島バスセンター（広島市）～四季が丘団地（廿日市市）（12往復/日）ほか17路線
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	対象駅：広島駅、対象自治体名：廿日市市 改善見込み（廿日市市役所～広島駅、37分⇒30分）
		□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	対象港：特定重要港湾　広島港、 改善見込み：（廿日市ＩＣ～広島港、41分⇒35分）
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		■ 中心市街地内で行う事業である	広島市中心市街地（中区、西区）
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	

政策目標		指　標　（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
	国土・地域ネットワークの構築	□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
		□ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	
		■ 地域高規格道路の位置づけあり	地域高規格道路：広島西道路
		□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		□ 現道等における交通不能区間を解消する	
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	対象地区：廿日市市　　日常活動圏中心都市：広島市 改善見込み（28分⇒24分）
	個性ある地域の形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	世界文化遺産厳島神社を要する観光地宮島（H22年間観光入込客数344万人） 世界文化遺産原爆ドームを要する平和記念公園（同137万人 ※平和記念資料館の来客者数）
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2．暮らし	歩行者･自転車のための生活空間の形成	□ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		□ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	□ 対象区間が電線類地中化５ヶ年計画に位置づけ有り	
		□ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	対象となる三次医療施設名称：広島市民病院、広島大学病院、広島県立病院 アクセス向上が見込まれる自治体等：広島市西区、広島市佐伯区
3．安全	安全な生活環境の確保	■ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	500件/億台キロ以上である区間・箇所：（広島市（広島市西区観音本町：755.9件/億台キロほか3区間）、 廿日市市（廿日市市平良2丁目：525.1件/億台キロほか1区間））
		□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが１つしかなく、災害による１～２箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	広島県の第1次緊急輸送道路に指定（一般国道2号）
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	代替する緊急輸送道路路線名：一般国道2号（宮島街道）、代替する区間（広島市西区庚午北地区～廿日市市地御前地区）
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	

政策目標		指　標　（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
４．環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	ＣＯ２排出削減量：約72.9千t/年（整備なし4,562.2千t／年⇒整備あり4,489.4千t／年）
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	評価対象区間：便益算定範囲 排出削減量：約391.6t／年（整備なし：20,345.4ｔ／年⇒整備あり19,953.8t／年・・・約1.9%削減）
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	評価対象区間：便益算定範囲 排出削減量：約33.1t／年（整備なし1,760.6ｔ／年⇒整備あり1,727.5t／年・・・約1.9%削減）
		■ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	広島市中区舟入本町（昼：71dB　夜：71dB）
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
５．その他	他のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄとの関係	■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	一般国道2号広島南道路と一体整備により機能分担を図る （広島南道路：通過交通処理、西広島バイパス：多量の都市内交通処理）
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	広島県社会資本未来プラン（平成23年3月22日策定）に位置付けあり
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

様式－２

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道2号	西広島バイパス	L= 19.4 km	地域高規格	ＢＰ

計画交通量（台/日）	車線数	事業主体
17,300～93,600	4	中国地方整備局

① 費　用

	事　業　費	維持管理費	合　　計
基 準 年	平成23年度		
単純合計	988億円	194億円	1,182億円
うち残事業分	320億円	23億円	343億円
基準年における現在価値（C）	3,197億円	288億円	3,485億円
うち残事業分	218億円	5.9億円	223億円

② 便　益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合　　計
基 準 年	平成23年度			
供 用 年	平成37年度			
単年便益（初年便益）	193億円	26億円	11億円	231億円
基準年における現在価値（B）	23,161億円	3,108億円	1,372億円	27,641億円
うち残事業分	201億円	98億円	54億円	353億円

③ 結　果

費用便益比（事業全体）	7.9
経済的純現在価値（事業全体）	24,155億円
経済的内部収益率（事業全体）	17.5%
費用便益比（残事業）	1.6
経済的純現在価値（残事業）	130億円
経済的内部収益率（残事業）	6.7%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	17,300～93,600	±１０%	1.5～1.6
事業費	320億円	±１０%	1.4～1.8
事業期間	13年	±２０%	1.4～1.8

様式－３①

交通状況の変化

事業名：西広島バイパス（事業全体）

（推計時点　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路		交通量※1	[台/日]	―	58,800
		走行時間※2	[分]	―	39
：19.4km		走行時間費用※3	[億円/年]	―	408.35
②主な周辺道路※4	国道2号	交通量	[台/日]	34,600	22,700
		走行時間	[分]	54	41
	：16.4km	走行時間費用	[億円/年]	358.25	166.24
	広島南道路	交通量	[台/日]	45,700	26,700
		走行時間	[分]	44	34
	：22.2km	走行時間費用	[億円/年]	446.77	182.68
	霞庚午線,翠町仁保線他	交通量	[台/日]	33,700	25,100
		走行時間	[分]	35	31
	：14.8km	走行時間費用	[億円/年]	224.12	140.31
	原田五日市線,伴広島線他	交通量	[台/日]	24,600	17,000
		走行時間	[分]	81	66
	：24.9km	走行時間費用	[億円/年]	322.57	175.49
	広島高速4号線,山陽道	交通量	[台/日]	39,000	30,500
		走行時間	[分]	14	14
	：19.2km	走行時間費用	[億円/年]	101.26	79.87
③その他道路合計：2994.0km		走行時間費用	[億円/年]	8,969.65	8,828.46

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：3110.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	10,422.62	9,981.40	441.22

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

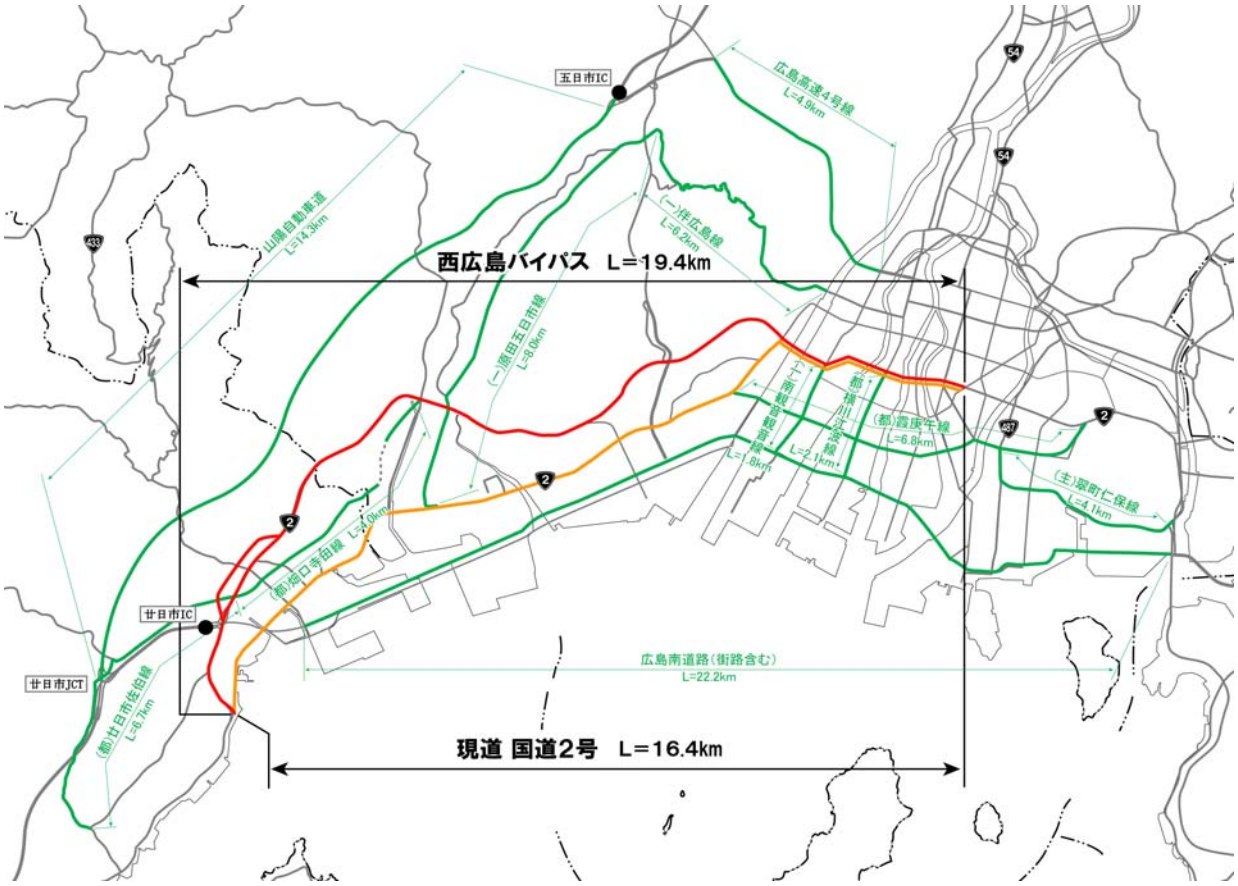
※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）



様式－３①

交通状況の変化

事業名：西広島バイパス（残事業）

（推計時点　Ｈ４２年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路		交通量※1	[台/日]	63,200	58,800
		走行時間※2	[分]	29	39
：19.4km		走行時間費用※3	[億円/年]	348.33	408.35
②主な周辺道路※4	国道2号	交通量	[台/日]	28,800	22,700
		走行時間	[分]	43	41
	：16.4km	走行時間費用	[億円/年]	226.73	166.24
	広島南道路	交通量	[台/日]	26,700	26,700
		走行時間	[分]	34	34
	：22.2km	走行時間費用	[億円/年]	182.68	182.68
	霞庚午線,翠町仁保線他	交通量	[台/日]	25,100	25,100
		走行時間	[分]	31	31
	：14.8km	走行時間費用	[億円/年]	140.31	140.31
	原田五日市線,伴広島線他	交通量	[台/日]	17,000	17,000
		走行時間	[分]	66	66
	：24.9km	走行時間費用	[億円/年]	175.49	175.49
	広島高速4号線,山陽道	交通量	[台/日]	30,500	30,500
		走行時間	[分]	14	14
	：19.2km	走行時間費用	[億円/年]	79.87	79.87
③その他道路合計：2994.0km		走行時間費用	[億円/年]	8,844.64	8,828.46

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：3110.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	9,998.05	9,981.40	16.65

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

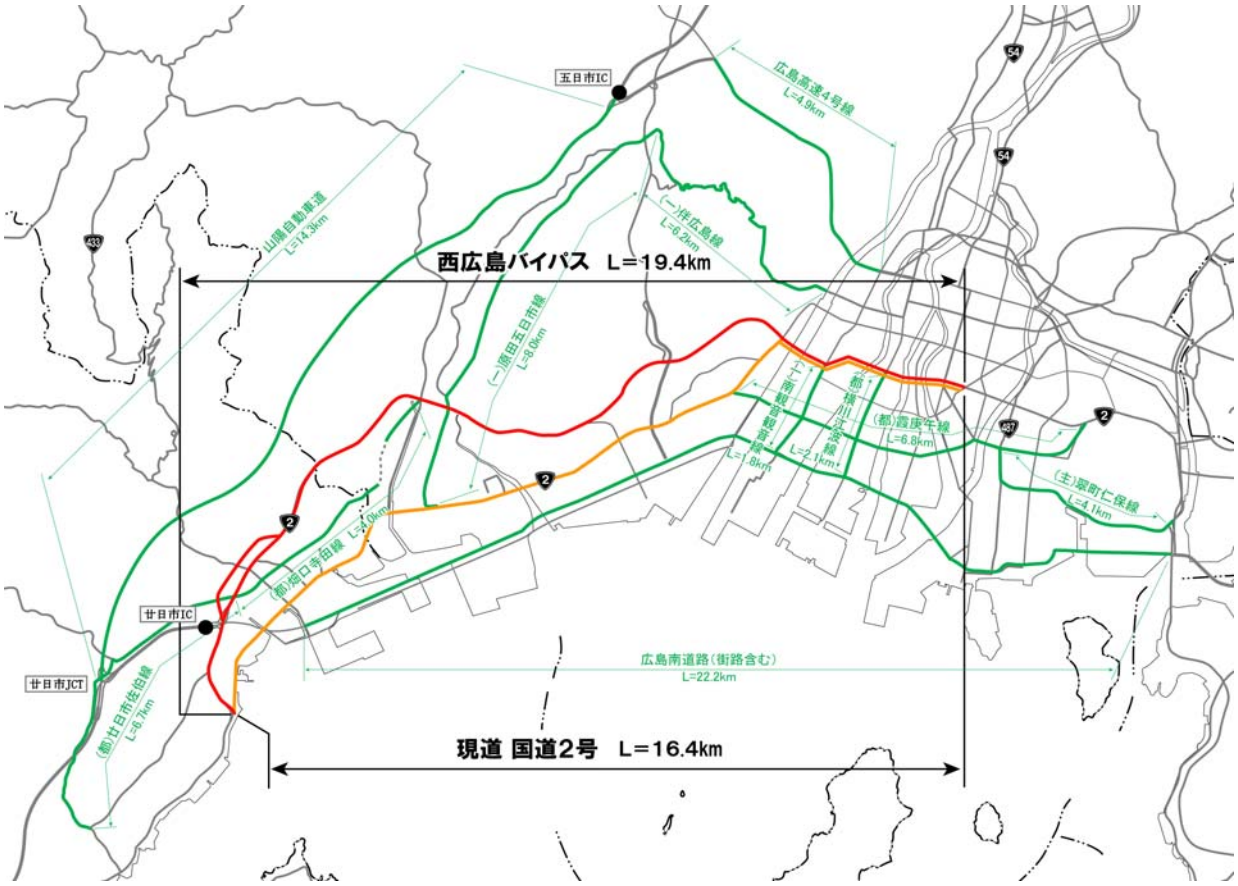
※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）



様式－３②

費用便益分析の条件

事業名： 西広島バイパス

（２）

項目				チェック欄
算出マニュアル		費用便益分析マニュアル （平成２０年１１月　国土交通省　道路局　都市・地域整備局）		■
		その他		□
分析の基本的事項		分析対象期間		50年間
		社会的割引率		4%
		基準年次		平成23年度
交通流推計	交通流の推計時点	１時点のみ推計		■（H42年）
		複数時点での推計		□
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		■
		整備の有無のいずれかのみ推計		□ 有　□ 無
		いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
	推計に用いたＯＤ表	道路交通センサスをベースとした自動車ＯＤ表（三段階推定法）		■（H17センサス）
		パーソントリップ調査をベースとした自動車ＯＤ表（四段階推定法）		□
		その他（		□
	開発交通量の考慮	無		■
		有		□
		有の場合のみ	考慮した開発交通量（トリップ数）	（　　）台ﾄﾘｯﾌﾟ/日
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Ｑ－Ｖ式を用いた配分		□
		転換率式を用いた配分		□
		Ｑ－Ｖ式と転換率式の併用による配分		■
		均衡配分（リンクパフォーマンス関数を用いた配分）		□
		簡易手法		□
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	□
			山間部海岸部で併行道路が少ない	□
			その他（　　）	
		簡易手法の考え方（将来交通量の設定方法等）		
		その他（		□
	速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		□
		採用理由を記載		
		最終配分の速度		□
		採用理由を記載		
		その他（最終配分交通量とＱＶ式との関係から平均速度を設定）		■

事業名： 西広島バイパス

（３）

項目				チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日係数	（　　）%
			休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない		□
		考慮する		■
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	（0.35）日
			採用した通行止め日数の考え方を記載 山陽道（広島東IC～廿日市JCT）の通行止め日数より算出	
			とり止め交通を考慮する	□
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載 過去の実績が無いため	
	冬期交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	（　　）日
			採用した冬期日数の考え方を記載	
			冬期の走行速度と交通容量の関係	
			設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定		■
		その他 （　　）		□
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
	交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮		□
		中央分離帯の有無を考慮しない		■
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない		■
		考慮する		□
	その他			

事業名： 西広島バイパス

（４）

項目			チェック欄
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	■
		標準投資パターンを採用	□
		その他（	□
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 実績値に基づき維持管理費を算出	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	□
	その他		
４．その他			

様式－4

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出（消費税相当額含む）

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.26	19.4	5.02

箇所名：西広島バイパス（事業全体）

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費（億円） 単純価値	事業費（億円） 現在価値	維持修繕費（億円） 単純価値	維持修繕費（億円） 現在価値
−14年目	S 40	6.0748	30.7	0.10	1.78		
−13年目	S 41	5.8412	32.4	0.28	4.54		
−12年目	S 42	5.6165	34.2	4.11	60.75		
−11年目	S 43	5.4005	36.0	7.75	104.63		
−10年目	S 44	5.1928	38.1	11.61	142.41		
−9年目	S 45	4.9931	40.7	25.45	281.00		
−8年目	S 46	4.8010	42.6	62.50	633.94		
−7年目	S 47	4.6164	45.5	78.11	713.24		
−6年目	S 48	4.4388	52.4	37.70	287.42		
−5年目	S 49	4.2681	62.5	14.54	89.36		
−4年目	S 50	4.1039	66.1	10.02	55.99		
−3年目	S 51	3.9461	71.7	10.00	49.53		
−2年目	S 52	3.7943	76.0	14.20	63.80		
−1年目	S 53	3.6484	79.2	5.30	21.97		
暫定供用年	S 54	3.5081	81.3	2.50	9.71	3.80	14.76
1年目	S 55	3.3731	86.4	2.20	7.73	3.80	13.35
2年目	S 56	3.2434	88.6	1.85	6.10	3.80	12.52
3年目	S 57	3.1187	89.6	1.85	5.80	3.80	11.90
4年目	S 58	2.9987	90.5	0.75	2.24	3.80	11.33
5年目	S 59	2.8834	92.3	0.65	1.83	3.80	10.68
6年目	S 60	2.7725	93.0	1.10	2.95	3.80	10.19
7年目	S 61	2.6658	94.6	0.75	1.90	3.80	9.64
8年目	S 62	2.5633	94.4	1.20	2.93	3.80	9.29
9年目	S 63	2.4647	94.9	0.90	2.10	3.80	8.88
10年目	H 1	2.3699	97.4	0.58	1.27	3.80	8.32
11年目	H 2	2.2788	99.6	0.19	0.39	3.80	7.82
12年目	H 3	2.1911	102.0	0.19	0.37	3.80	7.35
13年目	H 4	2.1068	103.4	1.94	3.56	3.80	6.97
14年目	H 5	2.0258	103.7	4.08	7.17	3.80	6.68
15年目	H 6	1.9479	103.6	0.49	0.83	3.80	6.43
16年目	H 7	1.8730	103.0	0.49	0.80	3.80	6.22
17年目	H 8	1.8009	102.4	0.49	0.78	3.80	6.01
18年目	H 9	1.7317	103.4	9.81	14.79	3.80	5.73
19年目	H 10	1.6651	102.8	28.82	42.01	3.80	5.54
20年目	H 11	1.6010	101.3	23.12	32.89	3.80	5.40
21年目	H 12	1.5395	99.7	45.38	63.06	3.80	5.28
22年目	H 13	1.4802	98.4	63.06	85.38	3.80	5.14
23年目	H 14	1.4233	96.6	28.75	38.12	3.80	5.04
24年目	H 15	1.3686	95.4	26.86	34.68	3.80	4.91
25年目	H 16	1.3159	94.4	21.93	27.51	3.80	4.77
26年目	H 17	1.2653	93.2	10.48	12.81	3.80	4.64
27年目	H 18	1.2167	92.5	10.75	12.73	3.80	4.50
28年目	H 19	1.1699	91.7	16.68	19.15	3.80	4.36
29年目	H 20	1.1249	91.2	22.08	24.51	3.80	4.22
30年目	H 21	1.0816	90.0	36.06	39.00	3.80	4.11
31年目	H 22	1.0400	90.0	16.27	16.92	3.80	3.95
32年目	H 23	1.0000	90.0	4.52	4.52	3.80	3.80
33年目	H 24	0.9615	90.0	0.38	0.37	3.80	3.65
34年目	H 25	0.9246	90.0	0.57	0.53	3.80	3.51
35年目	H 26	0.8890	90.0	0.71	0.63	3.80	3.38
36年目	H 27	0.8548	90.0	1.90	1.62	3.80	3.25
37年目	H 28	0.8219	90.0	6.67	5.48	3.80	3.12
38年目	H 29	0.7903	90.0	13.33	10.53	3.80	3.00
39年目	H 30	0.7599	90.0	14.67	11.15	3.80	2.89
40年目	H 31	0.7307	90.0	33.90	24.77	3.80	2.78
41年目	H 32	0.7026	90.0	55.26	38.82	3.80	2.67
42年目	H 33	0.6756	90.0	56.19	37.96	3.80	2.57
43年目	H 34	0.6496	90.0	55.24	35.88	3.80	2.47
44年目	H 35	0.6246	90.0	52.38	32.72	3.80	2.37
45年目	H 36	0.6006	90.0	28.45	17.09	3.80	2.28
供用開始年次	H 37	0.5775	90.0			4.78	2.76
47年目	H 38	0.5553	90.0			4.78	2.66
48年目	H 39	0.5339	90.0			4.78	2.55
49年目	H 40	0.5134	90.0	−111.55	−57.27	4.78	2.46
合　計				876.54	3197.20	193.92	288.11

単純事業費計		988.09	193.92

注1）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、
必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として
評価を実施。）

注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－4

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出（消費税相当額含む）

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.21	2.3	0.48

箇所名：西広島バイパス（残事業）

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費（億円） 単純価値	事業費（億円） 現在価値	維持修繕費（億円） 単純価値	維持修繕費（億円） 現在価値
−13年目	H 24	0.9615	90.0	0.38	0.37		
−12年目	H 25	0.9246	90.0	0.57	0.53		
−11年目	H 26	0.8890	90.0	0.71	0.63		
−10年目	H 27	0.8548	90.0	1.90	1.62		
−9年目	H 28	0.8219	90.0	6.67	5.48		
−8年目	H 29	0.7903	90.0	13.33	10.53		
−7年目	H 30	0.7599	90.0	14.67	11.15		
−6年目	H 31	0.7307	90.0	33.90	24.77		
−5年目	H 32	0.7026	90.0	55.26	38.82		
−4年目	H 33	0.6756	90.0	56.19	37.96		
−3年目	H 34	0.6496	90.0	55.24	35.88		
−2年目	H 35	0.6246	90.0	52.38	32.72		
−1年目	H 36	0.6006	90.0	28.45	17.09		
供用開始年次	H 37	0.5775	90.0			0.46	0.27
1年目	H 38	0.5553	90.0			0.46	0.26
2年目	H 39	0.5339	90.0			0.46	0.25
3年目	H 40	0.5134	90.0			0.46	0.24
4年目	H 41	0.4936	90.0			0.46	0.23
5年目	H 42	0.4746	90.0			0.46	0.22
6年目	H 43	0.4564	90.0			0.46	0.21
7年目	H 44	0.4388	90.0			0.46	0.20
8年目	H 45	0.4220	90.0			0.46	0.19
9年目	H 46	0.4057	90.0			0.46	0.19
10年目	H 47	0.3901	90.0			0.46	0.18
11年目	H 48	0.3751	90.0			0.46	0.17
12年目	H 49	0.3607	90.0			0.46	0.17
13年目	H 50	0.3468	90.0			0.46	0.16
14年目	H 51	0.3335	90.0			0.46	0.15
15年目	H 52	0.3207	90.0			0.46	0.15
16年目	H 53	0.3083	90.0			0.46	0.14
17年目	H 54	0.2965	90.0			0.46	0.14
18年目	H 55	0.2851	90.0			0.46	0.13
19年目	H 56	0.2741	90.0			0.46	0.13
20年目	H 57	0.2636	90.0			0.46	0.12
21年目	H 58	0.2534	90.0			0.46	0.12
22年目	H 59	0.2437	90.0			0.46	0.11
23年目	H 60	0.2343	90.0			0.46	0.11
24年目	H 61	0.2253	90.0			0.46	0.10
25年目	H 62	0.2166	90.0			0.46	0.10
26年目	H 63	0.2083	90.0			0.46	0.10
27年目	H 64	0.2003	90.0			0.46	0.09
28年目	H 65	0.1926	90.0			0.46	0.09
29年目	H 66	0.1852	90.0			0.46	0.09
30年目	H 67	0.1780	90.0			0.46	0.08
31年目	H 68	0.1712	90.0			0.46	0.08
32年目	H 69	0.1646	90.0			0.46	0.08
33年目	H 70	0.1583	90.0			0.46	0.07
34年目	H 71	0.1522	90.0			0.46	0.07
35年目	H 72	0.1463	90.0			0.46	0.07
36年目	H 73	0.1407	90.0			0.46	0.06
37年目	H 74	0.1353	90.0			0.46	0.06
38年目	H 75	0.1301	90.0			0.46	0.06
39年目	H 76	0.1251	90.0			0.46	0.06
40年目	H 77	0.1203	90.0			0.46	0.06
41年目	H 78	0.1157	90.0			0.46	0.05
42年目	H 79	0.1112	90.0			0.46	0.05
43年目	H 80	0.1069	90.0			0.46	0.05
44年目	H 81	0.1028	90.0			0.46	0.05
45年目	H 82	0.0989	90.0			0.46	0.05
46年目	H 83	0.0951	90.0			0.46	0.04
47年目	H 84	0.0914	90.0			0.46	0.04
48年目	H 85	0.0879	90.0			0.46	0.04
49年目	H 86	0.0845	90.0			0.46	0.04
合　計				319.65	217.55	23.00	5.93

単純事業費計		319.65	23.00

注1）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、
必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として
評価を実施。）

注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：西広島バイパス（事業全体）

年次	年度（基準年）H23	総走行台キロの年次別伸び率（山陽ﾌﾞﾛｯｸ） 乗用車類	小型貨物	普通貨物	全　車	割戻率 (A)	GDP ﾃﾞﾌﾚｰﾀ	走行時間短縮便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	①　計	現在価値 ①×(A)	走行経費減少便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	②　計	現在価値 (A)×②	事故減少便益(億円) ③	現在価値 ③×(A)	合　計（億円） 便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
暫定供用年	S　54	1.01873	1.08252	1.08252	1.04250	3.5081	81.3	111.39	42.11	39.89	193.38	751.00	15.18	3.92	6.64	25.75	99.99	11.38	44.17	230.51	895.16
1年目	S　55	1.01839	1.07623	1.07623	1.04076	3.3731	86.4	113.44	45.32	42.93	201.68	708.65	15.46	4.22	7.15	26.83	94.28	11.84	41.60	240.35	844.53
2年目	S　56	1.01806	1.07083	1.07083	1.03917	3.2434	88.6	115.49	48.53	45.97	209.98	691.81	15.74	4.52	7.66	27.92	91.98	12.30	40.53	250.20	824.33
3年目	S　57	1.01774	1.06615	1.06615	1.03769	3.1187	89.6	117.54	51.74	49.01	218.28	683.78	16.02	4.82	8.16	29.00	90.85	12.77	39.99	260.05	814.62
4年目	S　58	1.01743	1.06204	1.06204	1.03632	2.9987	90.5	119.58	54.95	52.05	226.58	675.69	16.30	5.12	8.67	30.09	89.72	13.23	39.45	269.90	804.87
5年目	S　59	1.01713	1.05842	1.05842	1.03505	2.8834	92.3	121.63	58.16	55.09	234.88	660.37	16.58	5.42	9.17	31.17	87.64	13.69	38.50	279.74	786.51
6年目	S　60	1.01684	1.05519	1.05519	1.03386	2.7725	93.0	123.68	61.37	58.13	243.18	652.45	16.86	5.72	9.68	32.26	86.54	14.16	37.98	289.59	776.98
7年目	S　61	1.03924	1.03477	1.03477	1.03721	2.6658	94.6	128.53	63.50	60.15	252.19	639.60	17.52	5.92	10.02	33.45	84.84	14.68	37.24	300.32	761.68
8年目	S　62	1.03775	1.03360	1.03360	1.03588	2.5633	94.4	133.39	65.64	62.17	261.19	638.31	18.18	6.11	10.35	34.65	84.68	15.21	37.17	311.05	760.16
9年目	S　63	1.03638	1.03251	1.03251	1.03463	2.4647	94.9	138.24	67.77	64.19	270.20	631.58	18.84	6.31	10.69	35.85	83.79	15.74	36.79	321.78	752.16
10年目	H　1	1.03510	1.03149	1.03149	1.03348	2.3699	97.4	143.09	69.90	66.21	279.21	611.43	19.50	6.51	11.03	37.04	81.12	16.26	35.62	332.52	728.16
11年目	H　2	1.03391	1.03052	1.03052	1.03239	2.2788	99.6	147.94	72.04	68.23	288.21	593.47	20.16	6.71	11.36	38.24	78.74	16.79	34.58	343.25	706.79
12年目	H　3	1.04739	1.00098	1.00098	1.02659	2.1911	102.0	154.95	72.11	68.30	295.36	571.04	21.12	6.72	11.38	39.21	75.81	17.24	33.33	351.81	680.18
13年目	H　4	1.04525	1.00098	1.00098	1.02590	2.1068	103.4	161.97	72.18	68.37	302.51	554.75	22.08	6.72	11.39	40.19	73.70	17.68	32.43	360.38	660.88
14年目	H　5	1.04329	1.00098	1.00098	1.02524	2.0258	103.7	168.98	72.25	68.44	309.66	544.44	23.03	6.73	11.40	41.16	72.37	18.13	31.88	368.95	648.69
15年目	H　6	1.04149	1.00098	1.00098	1.02462	1.9479	103.6	175.99	72.32	68.50	316.81	536.10	23.99	6.74	11.41	42.13	71.30	18.58	31.44	377.52	638.84
16年目	H　7	1.03098	1.00313	1.00313	1.01965	1.8730	103.0	181.44	72.55	68.72	322.70	528.13	24.73	6.76	11.44	42.93	70.26	18.94	31.00	384.58	629.40
17年目	H　8	1.03005	1.00312	1.00312	1.01927	1.8009	102.4	186.89	72.77	68.93	328.60	520.12	25.47	6.78	11.48	43.73	69.22	19.31	30.56	391.64	619.91
18年目	H　9	1.02917	1.00311	1.00311	1.01891	1.7317	103.4	192.34	73.00	69.15	334.49	504.16	26.22	6.80	11.52	44.53	67.12	19.67	29.65	398.69	600.94
19年目	H　10	1.02834	1.00310	1.00310	1.01856	1.6651	102.8	197.80	73.22	69.36	340.38	496.19	26.96	6.82	11.55	45.33	66.08	20.04	29.21	405.75	591.48
20年目	H　11	1.02756	1.00309	1.00309	1.01822	1.6010	101.3	203.25	73.45	69.57	346.27	492.55	27.70	6.84	11.59	46.13	65.62	20.40	29.02	412.81	587.19
21年目	H　12	1.04419	0.99872	0.99872	1.02705	1.5395	99.7	212.23	73.36	69.49	355.07	493.43	28.93	6.83	11.57	47.33	65.78	20.95	29.12	423.36	588.33
22年目	H　13	1.04232	0.99865	0.99865	1.02632	1.4802	98.4	221.21	73.26	69.39	363.86	492.62	30.15	6.82	11.56	48.53	65.71	21.51	29.12	433.90	587.45
23年目	H　14	1.04060	0.99871	0.99871	1.02567	1.4233	96.6	230.19	73.16	69.30	372.66	494.17	31.38	6.82	11.54	49.73	65.95	22.06	29.25	444.45	589.37
24年目	H　15	1.03901	0.99871	0.99871	1.02502	1.3686	95.4	239.17	73.07	69.21	381.45	492.49	32.60	6.81	11.53	50.93	65.76	22.61	29.19	455.00	587.45
25年目	H　16	1.03755	0.99865	0.99865	1.02439	1.3159	94.4	248.15	72.97	69.12	390.24	489.59	33.82	6.80	11.51	52.13	65.41	23.16	29.06	465.53	584.06
26年目	H　17	1.03619	0.99871	0.99871	1.02383	1.2653	93.2	257.13	72.88	69.03	399.04	487.57	35.05	6.79	11.50	53.33	65.17	23.71	28.97	476.08	581.72
27年目	H　18	0.99636	0.99503	1.01477	0.99870	1.2167	92.5	256.20	72.51	70.05	398.76	472.04	34.92	6.76	11.67	53.34	63.14	23.68	28.03	475.78	563.22
28年目	H　19	0.99635	0.99501	1.01456	0.99870	1.1699	91.7	255.26	72.15	71.07	398.48	457.53	34.79	6.72	11.84	53.35	61.26	23.65	27.16	475.48	545.94
29年目	H　20	0.99634	0.99498	1.01435	0.99869	1.1249	91.2	254.33	71.79	72.09	398.21	442.03	34.67	6.69	12.01	53.36	59.23	23.62	26.22	475.19	527.49
30年目	H　21	0.99632	0.99496	1.01415	0.99869	1.0816	90.0	253.39	71.43	73.11	397.93	430.40	34.54	6.65	12.18	53.37	57.72	23.59	25.51	474.89	513.64
31年目	H　22	0.99631	0.99493	1.01395	0.99869	1.0400	90.0	252.46	71.07	74.13	397.65	413.56	34.41	6.62	12.35	53.38	55.51	23.56	24.50	474.59	493.57
32年目	H　23	0.99630	0.99491	1.01376	0.99869	1.0000	90.0	251.52	70.70	75.15	397.37	397.37	34.28	6.59	12.52	53.39	53.39	23.53	23.53	474.29	474.29
33年目	H　24	0.99628	0.99488	1.01357	0.99869	0.9615	90.0	250.59	70.34	76.17	397.10	381.82	34.16	6.55	12.69	53.39	51.34	23.50	22.59	473.99	455.76
34年目	H　25	0.99627	0.99486	1.01339	0.99869	0.9246	90.0	249.65	69.98	77.19	396.82	366.88	34.03	6.52	12.86	53.40	49.37	23.47	21.70	473.69	437.95
35年目	H　26	0.99626	0.99483	1.01321	0.99868	0.8890	90.0	248.72	69.62	78.21	396.54	352.53	33.90	6.49	13.03	53.41	47.48	23.44	20.83	473.39	420.84
36年目	H　27	0.99624	0.99480	1.01304	0.99868	0.8548	90.0	247.78	69.26	79.23	396.27	338.73	33.77	6.45	13.20	53.42	45.66	23.40	20.01	473.09	404.40
37年目	H　28	0.99623	0.99477	1.01287	0.99868	0.8219	90.0	246.85	68.89	80.25	395.99	325.48	33.65	6.42	13.37	53.43	43.92	23.37	19.21	472.79	388.60
38年目	H　29	0.99621	0.99475	1.01271	0.99868	0.7903	90.0	245.91	68.53	81.27	395.71	312.74	33.52	6.38	13.54	53.44	42.23	23.34	18.45	472.49	373.42
39年目	H　30	0.99620	0.99472	1.01255	0.99868	0.7599	90.0	244.98	68.17	82.29	395.44	300.50	33.39	6.35	13.70	53.45	40.62	23.31	17.72	472.20	358.83
40年目	H　31	0.99618	0.99469	1.01239	0.99868	0.7307	90.0	244.04	67.81	83.31	395.16	288.74	33.26	6.32	13.87	53.46	39.06	23.28	17.01	471.89	344.81
41年目	H　32	0.99617	0.99466	1.01224	0.99867	0.7026	90.0	243.11	67.45	84.33	394.88	277.44	33.14	6.28	14.04	53.46	37.56	23.25	16.34	471.60	331.34
42年目	H　33	0.99714	0.99416	1.01580	0.99988	0.6756	90.0	242.41	67.05	85.66	395.12	266.93	33.04	6.25	14.27	53.55	36.18	23.25	15.70	471.93	318.82
43年目	H　34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	0.6496	90.0	241.72	66.66	86.99	395.37	256.82	32.95	6.21	14.49	53.64	34.85	23.24	15.10	472.26	306.77
44年目	H　35	0.99713	0.99409	1.01532	0.99988	0.6246	90.0	241.02	66.27	88.33	395.61	247.10	32.85	6.17	14.71	53.74	33.56	23.24	14.52	472.59	295.18
45年目	H　36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	0.6006	90.0	240.33	65.87	89.66	395.86	237.74	32.76	6.14	14.93	53.83	32.33	23.24	13.96	472.92	284.03
供用開始年次	H　37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.5775	90.0	261.13	70.95	107.20	439.28	253.67	38.29	7.14	20.55	65.98	38.10	30.71	17.74	535.97	309.51
47年目	H　38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.5553	90.0	260.37	70.52	108.77	439.67	244.13	38.18	7.09	20.85	66.12	36.72	30.71	17.05	536.50	297.90
48年目	H　39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.5339	90.0	259.62	70.09	110.34	440.05	234.95	38.07	7.05	21.15	66.27	35.38	30.71	16.39	537.03	286.73
49年目	H　40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.5134	90.0	258.86	69.67	111.91	440.44	226.11	37.96	7.01	21.45	66.42	34.10	30.70	15.76	537.56	275.97
合　計								10,295.85	3,390.35	3,645.58	17,331.78	23,160.74	1,414.08	317.94	618.19	2,350.21	3,108.17	1,039.85	1,371.88	20,721.83	27,640.79

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：西広島バイパス（残事業）

年次	年度（基準年）H23	総走行台キロの年次別伸び率（山陽ブロック） 乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車	割戻率 (A)	GDPデフレータ	走行時間短縮便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	走行経費減少便益(億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	事故減少便益(億円) ③	現在価値 ③×(A)	合計（億円） 便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.5775	90.0	9.65	2.26	4.61	16.52	9.54	3.85	0.81	3.17	7.83	4.52	4.51	2.61	28.86	16.67
1年目	H 38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.5553	90.0	9.63	2.25	4.68	16.55	9.19	3.84	0.80	3.22	7.86	4.36	4.51	2.50	28.92	16.06
2年目	H 39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.5339	90.0	9.60	2.24	4.74	16.58	8.85	3.83	0.80	3.26	7.89	4.21	4.51	2.41	28.98	15.47
3年目	H 40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.5134	90.0	9.57	2.22	4.81	16.60	8.52	3.82	0.79	3.31	7.92	4.07	4.51	2.32	29.03	14.90
4年目	H 41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	0.4936	90.0	9.54	2.21	4.88	16.63	8.21	3.80	0.79	3.36	7.95	3.92	4.51	2.23	29.09	14.36
5年目	H 42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.4746	90.0	9.51	2.19	4.95	16.65	7.90	3.79	0.78	3.40	7.98	3.79	4.51	2.14	29.14	13.83
6年目	H 43	0.99232	0.99307	1.00117	0.99423	0.4564	90.0	9.44	2.18	4.95	16.57	7.56	3.76	0.78	3.41	7.95	3.63	4.48	2.05	29.00	13.24
7年目	H 44	0.99226	0.99302	1.00116	0.99419	0.4388	90.0	9.37	2.16	4.96	16.49	7.24	3.73	0.77	3.41	7.92	3.48	4.46	1.96	28.86	12.67
8年目	H 45	0.99220	0.99298	1.00116	0.99416	0.4220	90.0	9.29	2.15	4.96	16.41	6.92	3.71	0.77	3.42	7.89	3.33	4.43	1.87	28.73	12.12
9年目	H 46	0.99214	0.99293	1.00116	0.99413	0.4057	90.0	9.22	2.13	4.97	16.32	6.62	3.68	0.76	3.42	7.86	3.19	4.41	1.79	28.59	11.60
10年目	H 47	0.99207	0.99288	1.00116	0.99409	0.3901	90.0	9.15	2.12	4.97	16.24	6.34	3.65	0.76	3.42	7.83	3.05	4.38	1.71	28.45	11.10
11年目	H 48	0.99201	0.99282	1.00116	0.99406	0.3751	90.0	9.07	2.10	4.98	16.16	6.06	3.62	0.75	3.43	7.80	2.92	4.35	1.63	28.31	10.62
12年目	H 49	0.99195	0.99277	1.00116	0.99402	0.3607	90.0	9.00	2.09	4.99	16.08	5.80	3.59	0.75	3.43	7.77	2.80	4.33	1.56	28.17	10.16
13年目	H 50	0.99188	0.99272	1.00116	0.99398	0.3468	90.0	8.93	2.07	4.99	15.99	5.55	3.56	0.74	3.44	7.74	2.68	4.30	1.49	28.03	9.72
14年目	H 51	0.99181	0.99267	1.00115	0.99395	0.3335	90.0	8.86	2.06	5.00	15.91	5.31	3.53	0.73	3.44	7.71	2.57	4.27	1.43	27.89	9.30
15年目	H 52	0.99175	0.99261	1.00115	0.99391	0.3207	90.0	8.78	2.04	5.00	15.83	5.08	3.50	0.73	3.44	7.67	2.46	4.25	1.36	27.75	8.90
16年目	H 53	0.99168	0.99256	1.00115	0.99387	0.3083	90.0	8.71	2.03	5.01	15.75	4.85	3.47	0.72	3.45	7.64	2.36	4.22	1.30	27.61	8.51
17年目	H 54	0.99161	0.99250	1.00115	0.99384	0.2965	90.0	8.64	2.01	5.01	15.66	4.64	3.44	0.72	3.45	7.61	2.26	4.20	1.24	27.47	8.14
18年目	H 55	0.99154	0.99245	1.00115	0.99380	0.2851	90.0	8.56	2.00	5.02	15.58	4.44	3.41	0.71	3.46	7.58	2.16	4.17	1.19	27.33	7.79
19年目	H 56	0.99146	0.99239	1.00115	0.99376	0.2741	90.0	8.49	1.98	5.03	15.50	4.25	3.38	0.71	3.46	7.55	2.07	4.14	1.14	27.20	7.45
20年目	H 57	0.99139	0.99233	1.00115	0.99372	0.2636	90.0	8.42	1.97	5.03	15.42	4.06	3.36	0.70	3.46	7.52	1.98	4.12	1.09	27.06	7.13
21年目	H 58	0.99132	0.99227	1.00115	0.99368	0.2534	90.0	8.34	1.95	5.04	15.33	3.89	3.33	0.70	3.47	7.49	1.90	4.09	1.04	26.92	6.82
22年目	H 59	0.99124	0.99221	1.00114	0.99364	0.2437	90.0	8.27	1.94	5.04	15.25	3.72	3.30	0.69	3.47	7.46	1.82	4.07	0.99	26.78	6.52
23年目	H 60	0.99116	0.99215	1.00114	0.99360	0.2343	90.0	8.20	1.92	5.05	15.17	3.55	3.27	0.69	3.48	7.43	1.74	4.04	0.95	26.64	6.24
24年目	H 61	0.99108	0.99209	1.00114	0.99356	0.2253	90.0	8.12	1.91	5.05	15.09	3.40	3.24	0.68	3.48	7.40	1.67	4.01	0.90	26.50	5.97
25年目	H 62	0.99100	0.99202	1.00114	0.99352	0.2166	90.0	8.05	1.89	5.06	15.00	3.25	3.21	0.67	3.48	7.37	1.60	3.99	0.86	26.36	5.71
26年目	H 63	0.99092	0.99196	1.00114	0.99348	0.2083	90.0	7.98	1.88	5.07	14.92	3.11	3.18	0.67	3.49	7.34	1.53	3.96	0.83	26.22	5.46
27年目	H 64	0.99084	0.99190	1.00114	0.99343	0.2003	90.0	7.91	1.86	5.07	14.84	2.97	3.15	0.66	3.49	7.31	1.46	3.94	0.79	26.08	5.22
28年目	H 65	0.99075	0.99183	1.00114	0.99339	0.1926	90.0	7.83	1.85	5.08	14.76	2.84	3.12	0.66	3.50	7.28	1.40	3.91	0.75	25.94	5.00
29年目	H 66	0.99067	0.99176	1.00113	0.99334	0.1852	90.0	7.76	1.83	5.08	14.67	2.72	3.09	0.65	3.50	7.25	1.34	3.88	0.72	25.80	4.78
30年目	H 67	0.99058	0.99169	1.00113	0.99330	0.1780	90.0	7.69	1.81	5.09	14.59	2.60	3.06	0.65	3.50	7.22	1.28	3.86	0.69	25.66	4.57
31年目	H 68	0.99049	0.99162	1.00113	0.99325	0.1712	90.0	7.61	1.80	5.10	14.51	2.48	3.04	0.64	3.51	7.18	1.23	3.83	0.66	25.53	4.37
32年目	H 69	0.99040	0.99155	1.00113	0.99321	0.1646	90.0	7.54	1.78	5.10	14.43	2.37	3.01	0.64	3.51	7.15	1.18	3.81	0.63	25.39	4.18
33年目	H 70	0.99031	0.99148	1.00113	0.99316	0.1583	90.0	7.47	1.77	5.11	14.34	2.27	2.98	0.63	3.52	7.12	1.13	3.78	0.60	25.25	4.00
34年目	H 71	0.99021	0.99141	1.00113	0.99312	0.1522	90.0	7.39	1.75	5.11	14.26	2.17	2.95	0.63	3.52	7.09	1.08	3.75	0.57	25.11	3.82
35年目	H 72	0.99011	0.99133	1.00113	0.99307	0.1463	90.0	7.32	1.74	5.12	14.18	2.07	2.92	0.62	3.52	7.06	1.03	3.73	0.55	24.97	3.65
36年目	H 73	0.99002	0.99126	1.00113	0.99302	0.1407	90.0	7.25	1.72	5.12	14.10	1.98	2.89	0.62	3.53	7.03	0.99	3.70	0.52	24.83	3.49
37年目	H 74	0.98991	0.99118	1.00112	0.99297	0.1353	90.0	7.17	1.71	5.13	14.01	1.90	2.86	0.61	3.53	7.00	0.95	3.68	0.50	24.69	3.34
38年目	H 75	0.98981	0.99110	1.00112	0.99292	0.1301	90.0	7.10	1.69	5.14	13.93	1.81	2.83	0.60	3.54	6.97	0.91	3.65	0.47	24.55	3.19
39年目	H 76	0.98971	0.99102	1.00112	0.99287	0.1251	90.0	7.03	1.68	5.14	13.85	1.73	2.80	0.60	3.54	6.94	0.87	3.62	0.45	24.41	3.05
40年目	H 77	0.98960	0.99094	1.00112	0.99282	0.1203	90.0	6.96	1.66	5.15	13.76	1.66	2.77	0.59	3.54	6.91	0.83	3.60	0.43	24.27	2.92
41年目	H 78	0.98949	0.99086	1.00112	0.99277	0.1157	90.0	6.88	1.65	5.15	13.68	1.58	2.74	0.59	3.55	6.88	0.80	3.57	0.41	24.13	2.79
42年目	H 79	0.98938	0.99077	1.00112	0.99271	0.1112	90.0	6.81	1.63	5.16	13.60	1.51	2.71	0.58	3.55	6.85	0.76	3.55	0.39	23.99	2.67
43年目	H 80	0.98926	0.99069	1.00112	0.99266	0.1069	90.0	6.74	1.62	5.16	13.52	1.45	2.69	0.58	3.56	6.82	0.73	3.52	0.38	23.86	2.55
44年目	H 81	0.98915	0.99060	1.00112	0.99261	0.1028	90.0	6.66	1.60	5.17	13.43	1.38	2.66	0.57	3.56	6.79	0.70	3.49	0.36	23.72	2.44
45年目	H 82	0.98903	0.99051	1.00111	0.99255	0.0989	90.0	6.59	1.59	5.18	13.35	1.32	2.63	0.57	3.56	6.76	0.67	3.47	0.34	23.58	2.33
46年目	H 83	0.98891	0.99042	1.00111	0.99250	0.0951	90.0	6.52	1.57	5.18	13.27	1.26	2.60	0.56	3.57	6.73	0.64	3.44	0.33	23.44	2.23
47年目	H 84	0.98878	0.99033	1.00111	0.99244	0.0914	90.0	6.44	1.56	5.19	13.19	1.21	2.57	0.56	3.57	6.70	0.61	3.42	0.31	23.30	2.13
48年目	H 85	0.98866	0.99023	1.00111	0.99238	0.0879	90.0	6.37	1.54	5.19	13.10	1.15	2.54	0.55	3.57	6.66	0.59	3.39	0.30	23.16	2.04
49年目	H 86	0.98853	0.99014	1.00111	0.99232	0.0845	90.0	6.30	1.53	5.20	13.02	1.10	2.51	0.54	3.58	6.63	0.56	3.36	0.28	23.02	1.95
合　計								403.73	94.89	251.96	750.58	201.39	160.96	33.87	173.44	368.28	97.80	199.70	54.00	1,318.56	353.18

（事業全体）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	西広島バイパス	4／4	19.4km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費			式	1	77,259	
	改良費		式	1	14,746	
		土工	m3	11,473,333	9,977	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m3	ー	ー	
		法面工	㎡	82,565	24	盛土法面
		擁壁工	式	1	2,359	ブロック積擁壁
		函渠工	式	1	2,386	管渠工、函渠工、水路工、等
	橋梁費		式	1	39,753	
		100m以上	m	6,725	37,647	ME橋(13橋)
		100m未満	m	568	2,106	PC橋(19橋)、ME橋(4橋)
	トンネル費		式	1	4,187	
		NATM	m	1,761	4,187	4本（上下線）
		シールド	m	ー	ー	
	IC・JCT費		式	1	6,942	
		IC	箇所	19	6,942	ダイヤモンド型(11箇所)、トランペット型(1箇所)、ランプ（7箇所）
		JCT	箇所	ー	ー	
	舗装費		式	1	3,875	
		車道舗装	㎡	365,460	3,716	
		歩道舗装	㎡	20,470	159	
	附帯施設費		式	1	7,756	
		交通管理施設工	式	1	3,776	標識工、防護柵工、道路照明工、中央分離帯工、等
		遮音壁	m	4,566	3,980	
②用地及び補償費			式	1	12,014	
	用地費		式	1	11,155	
		宅地	㎡	43,273	1,846	
		田畑	㎡	126,711	1,888	
		山林・原野	㎡	437,916	7,422	
	補償費		式	1	859	
③間接経費			式	1	12,927	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					102,200	

（残事業）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	西広島バイパス	4／4	19.4km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費			式	1	27,519	
	改良費		式	1	115	
		土工	m3	―	―	
		軟弱地盤改良工	m3	―	―	
		法面工	㎡	―	―	
		擁壁工	式	―	―	
		函渠工	式	1	115	水路工、等
	橋梁費		式	1	18,400	
		100m以上	m	2,283	18,400	ME橋(7橋)
		100m未満	m	―	―	
	トンネル費		式	―	―	
		NATM	m	―	―	
		シールド	m	―	―	
	IC・JCT費		式	1	2,014	
		IC	箇所	5	2,014	ランプ(5箇所)
		JCT	箇所	―	―	
	舗装費		式	1	584	
		車道舗装	㎡	33,180	527	
		歩道舗装	㎡	7,270	57	
	附帯施設費		式	1	6,406	
		交通管理施設工	式	1	2,426	標識工、防護柵工、道路照明工、中央分離帯工、等
		遮音壁	m	4,566	3,980	
②用地及び補償費			式	―	―	
	用地費		式	―	―	
		宅地	㎡	―	―	
		田畑	㎡	―	―	
		山林・原野	㎡	―	―	
	補償費		式	―	―	
③間接経費			式	1	6,045	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					33,564	

（事業全体）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	西広島バイパス	2～8	19.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 （百万円）	備考
維持費	km	19.4	4,284	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	16,079	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			20,363	

（残事業）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	西広島バイパス	2～4	2.3km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 （百万円）	備考
維持費	km	2.3	575	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	1,840	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			2,415	

一般国道２号　西広島バイパス

〔広島県への意見照会と回答〕

国中整企画第７１号
国中整港計第４０号
平成２３年１１月１１日

広島県知事　殿

中国地方整備局長

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成２３年１２月６日（火）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成２３年１１月２８日(月)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先
中国地方整備局 企画部 企画課
課長補佐　浜崎
教習係長　木本
電　話：０８２－２２１－９２３１
ＦＡＸ：０８２－２２７－２６５１

（別紙）

【河川事業】

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
江の川直轄河川改修事業	継続	
芦田川総合水系環境整備事業	継続	

【道路事業】

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
一般国道2号　西広島バイパス	継続	

【港湾事業】

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
尾道糸崎港機織地区 国際物流ターミナル整備事業	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
　対応方針（原案）を作成するためのものです。

土　総　第　２　４　号
平成２３年１１月２８日

中国地方整備局長　様

広　島　県　知　事

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る
意見照会について（回答）

平成２３年１１月１１日付け国中整企画第７１号及び国中整港計第４０号で照会のあった下記事業について，対応方針（原案）案については異存ありません。
なお，個別の事業についての意見は別紙のとおりです。

記

・ 河川事業　江の川直轄河川改修事業
・ 河川事業　芦田川総合水系環境整備事業
・ 道路事業　一般国道２号　西広島バイパス
・ 港湾事業　尾道糸崎港機織地区　国際物流ターミナル整備事業

以上

中国地方整備局
企画第51号
23.11.28

中国地方整備局
港計第60号
H23. 11. 29

担当
土木総務課経営調整グループ
電話　082-513-3814
ＦＡＸ　082-223-3593

（別紙）

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）案に対する意見（１／２）

【河川事業】

事　業　名	江の川直轄河川改修事業
対応方針に対する意見 （対応方針：継続）	異存はありません
（具体的意見） 治水安全度の向上，費用対効果，地元の協力体制等の観点からも事業の継続に異議はありません。 今後も引き続きコストの縮減に努めながら，計画的に整備を進めていただきたい。	
事　業　名	芦田川総合水系環境整備事業
対応方針に対する意見 （対応方針：継続）	異存はありません
（具体的意見） 河川環境に対する住民の要望は強く，各関係機関並びに地域の協力体制も構築され，流域が一体となった水質改善への取組が行われています。 今後も引き続き，地域との協力体制を確立するとともに，コストの縮減に努めながら，計画的に整備を進めていただきたい。	

【道路事業】

事　業　名	一般国道２号　西広島バイパス
対応方針に対する意見 （対応方針：継続）	継続とする対応方針については妥当である
（具体的意見） 西広島バイパスについては，広島市中心部の交通渋滞を緩和し，広島都市圏の連携強化を図るための重要な事業と考えます。 広島県といたしましては，計画的に整備を進めていただきたいと考えます。	

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）案に対する意見（２／２）

【海岸事業】

事　業　名	尾道糸崎港機織地区 国際物流ターミナル整備事業
対応方針に対する意見 （対応方針：継続）	妥当である
（具体的意見） 尾道糸崎港機織地区は，西日本有数の木材拠点港であり，背後には多数の木材関連企業が立地しているが，航路・泊地は暫定水深で整備しているため，近年における大型の木材運搬船に対応した効率的な荷役が行えない状況である。また，本県においてもこの国際物流ターミナル整備事業を前提に，整理場など木材の水面取扱施設の整備を行っている。このため，輸送機能の一層の強化を図り地域産業の競争力を強化するため，国際物流ターミナル整備事業をより一層推進して頂きたい。	

一般国道２号　西広島バイパス

〔広島市への意見照会と回答〕

国中整企画第７１号
国中整港計第４０号
平成２３年１１月１１日

広島市長　殿

中国地方整備局長

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成２３年１２月６日（火）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成２３年１１月２８日(月)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先
中国地方整備局 企画部 企画課
課長補佐　浜崎
教習係長　木本
電　話：０８２－２２１－９２３１
ＦＡＸ：０８２－２２７－２６５１

（別紙）

【道路事業】

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
一般国道2号　西広島バイパス	継続	
一般国道54号　可部バイパス	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
　対応方針（原案）を作成するためのものです。

広道計第102号
平成23年11月25日

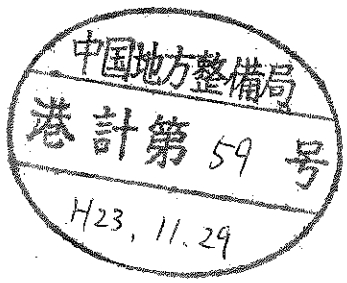
中国地方整備局長　戸田　和彦　様

広島市長　　松井　一實
（道路交通局道路部道路計画課）

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

平成23年11月11日付け国中整企画第71号及び国中整港計第40号で意見照会のあったこのことについては、下記のとおりです。

記

一般国道2号西広島バイパス及び一般国道54号可部バイパスの事業再評価に係る対応方針（原案）については、異存ありません。

事業の執行にあたっては、一般国道54号可部バイパスの早期暫定供用をお願いします。また、一般国道2号西広島バイパスについて、本市と協議・調整の上、着実な事業展開を図られるようお願いします。